

河北町地域公共交通計画（案）
（資料編）

令和8年3月策定

山形県 河北町

目次

○河北町の概況.....	1
○河北町の人口の推移と社人研による将来推計（年齢3区分別）.....	2
○河北町の人口の分布（メッシュ）2020年及び各種施設等について.....	3
○河北町の公共交通地域区分について.....	4
○人流について.....	6
○山交バスの利用状況（河北病院⇄寒河江駅前）について.....	9
○計画の位置づけ（上位計画・関連計画の整理）.....	10
○路線別・便別の1便あたりの利用者数.....	13
○おでかけカルテ及びアンケート調査の分析結果（区長・民生委員）.....	14
○アンケート調査の分析結果	
・中学生保護者.....	16
・高校生保護者.....	23
・谷地高校生保護者.....	35
○路線別・便別の利用者数の詳細.....	41

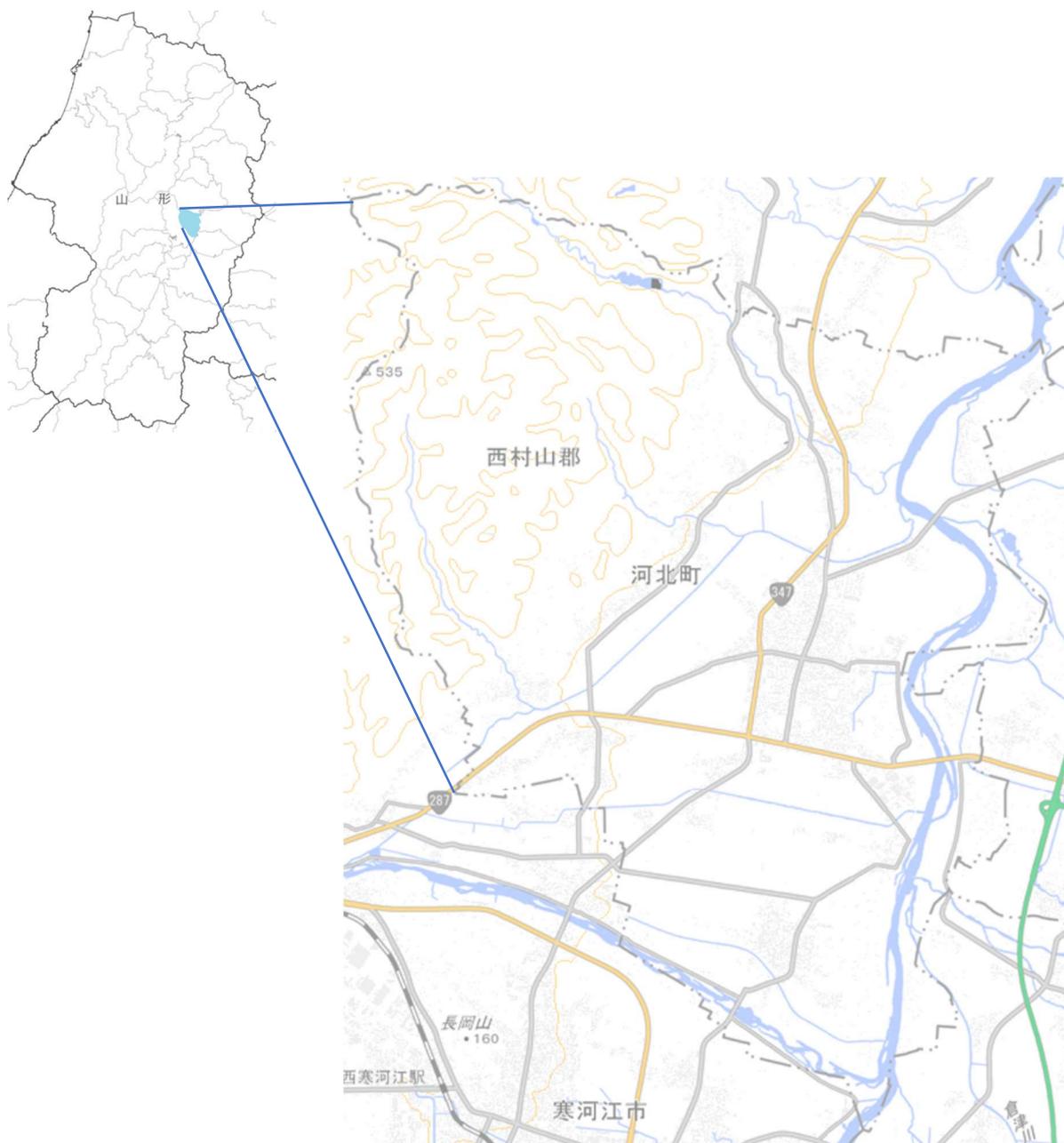
○河北町の概況

本町は、山形県のほぼ中央に位置し、万年雪を抱く月山や、雄大な朝日連峰、さらには、樹氷で有名な蔵王を遠くに望みながら、山形県の母なる川、最上川と清流寒河江川に囲まれた、風光明媚な環境の中にあります。

面積は 52.45 km²で、町の面積のうち約 70%を平野部が占め、自然条件に恵まれた環境にあります。

山形盆地の北西部に位置していることから、冬は北西風が雪を降らし、夏は南東の風が吹き込み、寒暖の差がある典型的な内陸型気候となっています。

河北町の位置



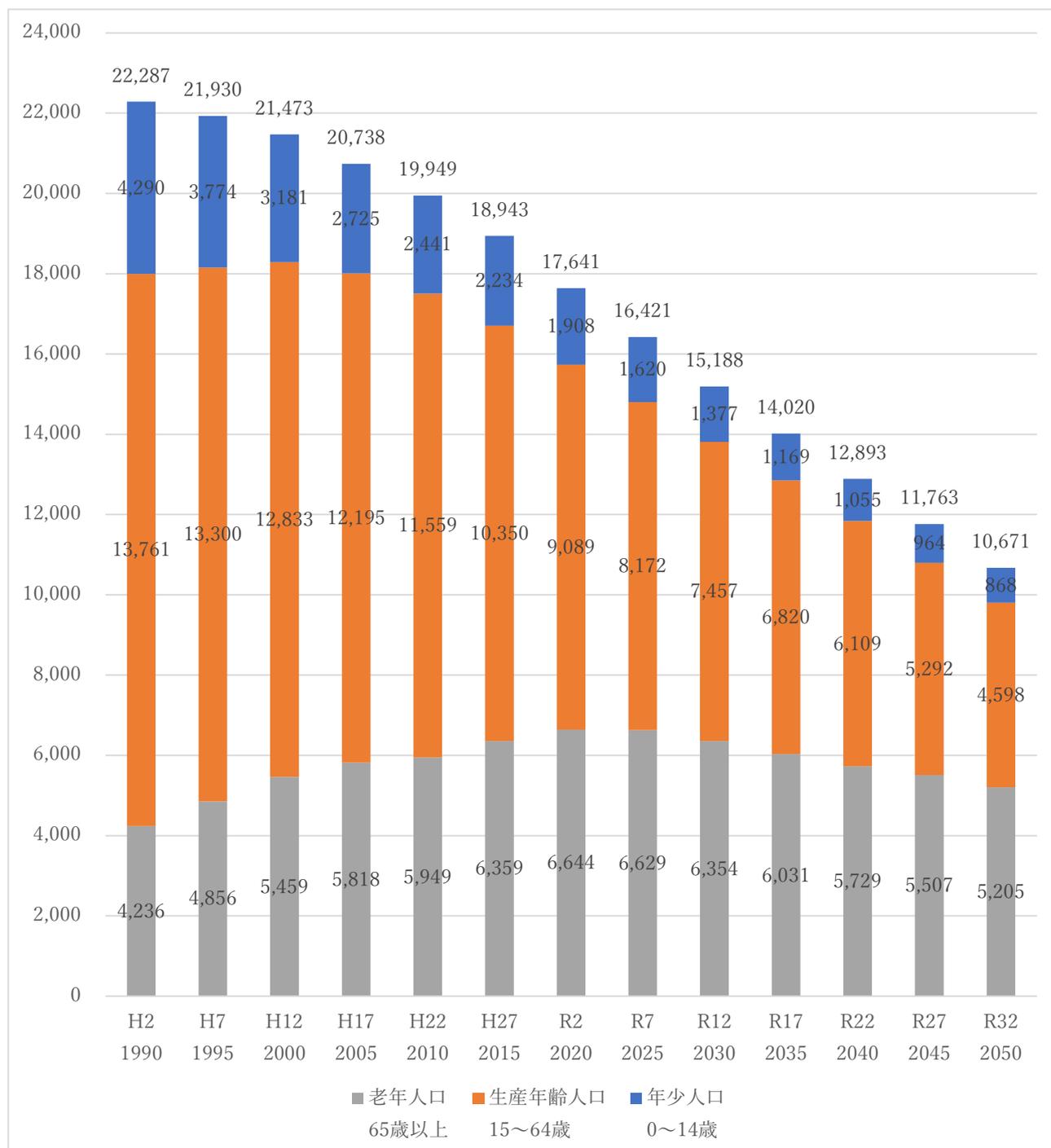
出典：国土地理院ウェブサイト (<https://maps.gsi.go.jp/>)

上記ウェブサイトの白地図、淡色地図をもとに作成

○河北町の人口の推移と社人研による将来推計（年齢3区分別）

年少人口（0～14歳）と生産年齢人口（15～64歳）はともに平成2（1990）年以降一貫して減少傾向にある。一方、老年人口（65歳以上）は増加を続けているものの、令和7（2025）年以降は老年人口も減少に転じると見込まれている。

図 河北町の人口の推移と社人研による将来推計（年齢3区分別）について



出典：2020年までは総務省「国勢調査」。

2025年以降の数値は、国立社会保障・人口問題研究所（社人研）「日本の地域別将来推計人口（令和5年推計）」。

○河北町の人口の分布（メッシュ）2020年及び各種施設等について



- メッシュ凡例
- 0~30人
 - 30~60人
 - 60~90人
 - 90~120人
 - 120~150人
 - 150~180人
 - 180~210人
 - 210~240人
 - 240~270人
 - 270~300人
 - 300~人

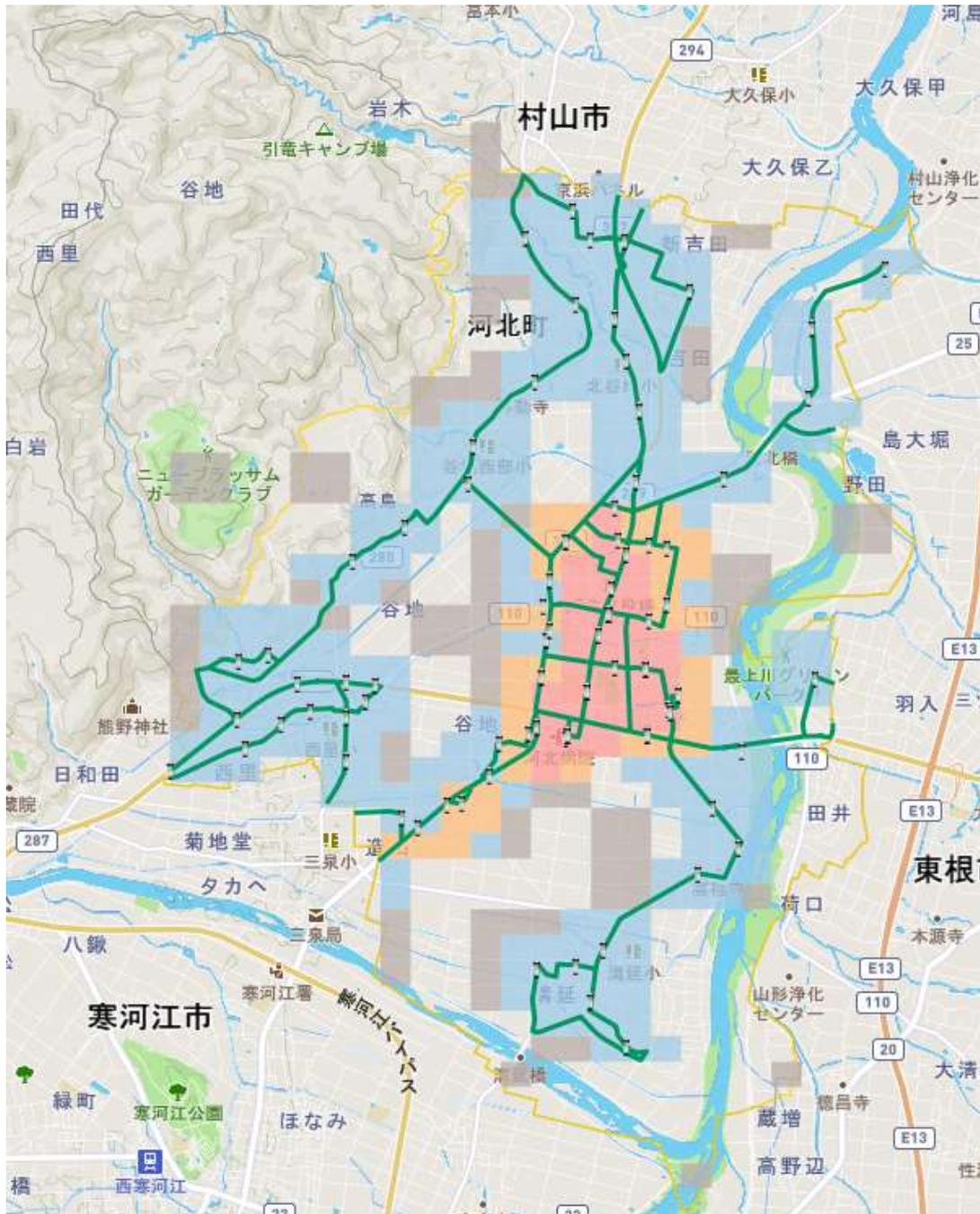
- 種別
- 公共・文化施設
 - 学校
 - 商業施設
 - 観光施設
 - 医療・福祉施設
 - 公民館

- 区域
- 都市計画区域

- バスルート
- バスルート

出典：山形県地域公共交通可視化ツール

○河北町の公共交通地域区分について（平日）



- | | |
|--------------------|------------------------|
| バス停凡例
：バス停 | 公共交通地域区分
■ 公共交通空白地域 |
| 区域
■ 都市計画区域 | ■ 公共交通不便地域 |
| バスルート凡例
■ バスルート | ■ 公共交通利用可能地域 |
| | ■ 公共交通便利地域 |

出典：山形県地域公共交通可視化ツール

○河北町の公共交通地域区分について（休日）



バス停凡例

：バス停

区域

■都市計画区域

バスルート凡例

■バスルート

公共交通地域区分

■公共交通空白地域

■公共交通不便地域

■公共交通利用可能地域

■公共交通便利地域

出典：山形県地域公共交通可視化ツール

〇人流について

- ・河北町^{出発}の人流について（2024年6月 平日、表示下限2,000人）

出発	⇒	到着	移動人数
河北町	⇒	寒河江市	16,913人
	⇒	山形市	12,387人
	⇒	東根市	9,318人
	⇒	天童市	7,235人
	⇒	村山市	3,716人
	⇒	朝日町	3,036人

(LocationMind xPop © LocationMind Inc. ※)

- ・河北町^{到着}の人流について（2024年6月 平日、表示下限2,000人）

出発	⇒	到着	移動人数
寒河江市	⇒	河北町	16,765人
東根市	⇒		9,828人
天童市	⇒		7,801人
山形市	⇒		7,382人
村山市	⇒		5,800人

(LocationMind xPop © LocationMind Inc. ※)

- ・河北町^{出発}の人流について（2024年6月 休日、表示下限2,000人）

出発	⇒	到着	移動人数
河北町	⇒	寒河江市	10,339人
	⇒	山形市	9,379人
	⇒	東根市	6,883人
	⇒	天童市	4,947人

(LocationMind xPop © LocationMind Inc. ※)

- ・河北町^{到着}の人流について（2024年6月 休日、表示下限2,000人）

出発	⇒	到着	移動人数
寒河江市	⇒	河北町	7,926人
山形市	⇒		6,279人
東根市	⇒		5,612人
村山市	⇒		2,857人
天童市	⇒		2,198人

(LocationMind xPop © LocationMind Inc. ※)

※ 「LocationMind xPop」データは、NTTドコモが提供するアプリケーションの利用者より、承諾を得た上で送信される携帯電話の位置情報を、NTTドコモが総体的かつ統計的に加工を行ったデータ。位置情報は最短5分毎に測位されるGPSデータ（緯度経度情報）であり、個人を特定する情報は含まれない。

- ・河北町^{出発}の人流について（2024年8月 平日、表示下限2,000人）

出発	⇒	到着	移動人数
河北町	⇒	寒河江市	13,763人
	⇒	山形市	11,418人
	⇒	東根市	8,969人
	⇒	天童市	6,246人
	⇒	村山市	3,567人
	⇒	朝日町	2,493人

(LocationMind xPop © LocationMind Inc. ※)

- ・河北町^{到着}の人流について（2024年8月 平日、表示下限2,000人）

出発	⇒	到着	移動人数
寒河江市	⇒	河北町	13,983人
山形市	⇒		8,553人
東根市	⇒		8,042人
天童市	⇒		6,826人
村山市	⇒		4,289人

(LocationMind xPop © LocationMind Inc. ※)

- ・河北町^{出発}の人流について（2024年8月 休日、表示下限2,000人）

出発	⇒	到着	移動人数
河北町	⇒	寒河江市	9,217人
	⇒	山形市	7,598人
	⇒	東根市	4,737人
	⇒	天童市	4,074人
	⇒	村山市	2,168人

(LocationMind xPop © LocationMind Inc. ※)

- ・河北町^{到着}の人流について（2024年8月 休日、表示下限2,000人）

出発	⇒	到着	移動人数
寒河江市	⇒	河北町	6,321人
山形市	⇒		5,393人
東根市	⇒		4,960人

(LocationMind xPop © LocationMind Inc. ※)

※ 「LocationMind xPop」データは、NTTドコモが提供するアプリケーションの利用者より、承諾を得た上で送信される携帯電話の位置情報を、NTTドコモが総体的かつ統計的に加工を行ったデータ。位置情報は最短5分毎に測位されるGPSデータ（緯度経度情報）であり、個人を特定する情報は含まれない。

- ・河北町^{出発}の人流について（2024年12月 平日、表示下限2,000人）

出発	⇒	到着	移動人数
河北町	⇒	寒河江市	14,586人
	⇒	山形市	11,657人
	⇒	東根市	10,116人
	⇒	天童市	6,475人
	⇒	村山市	3,006人
	⇒	朝日町	2,580人

(LocationMind xPop © LocationMind Inc. ※)

- ・河北町^{到着}の人流について（2024年12月 平日、表示下限2,000人）

出発	⇒	到着	移動人数
寒河江市	⇒	河北町	16,378人
東根市	⇒		9,473人
山形市	⇒		8,252人
天童市	⇒		6,481人
村山市	⇒		5,688人

(LocationMind xPop © LocationMind Inc. ※)

- ・河北町^{出発}の人流について（2024年12月 休日、表示下限2,000人）

出発	⇒	到着	移動人数
河北町	⇒	寒河江市	9,379人
	⇒	山形市	9,093人
	⇒	東根市	6,310人
	⇒	天童市	5,488人

(LocationMind xPop © LocationMind Inc. ※)

- ・河北町^{到着}の人流について（2024年12月 休日、表示下限2,000人）

出発	⇒	到着	移動人数
寒河江市	⇒	河北町	8,584人
東根市	⇒		4,692人
山形市	⇒		4,625人
村山市	⇒		3,212人
天童市	⇒		2,568人

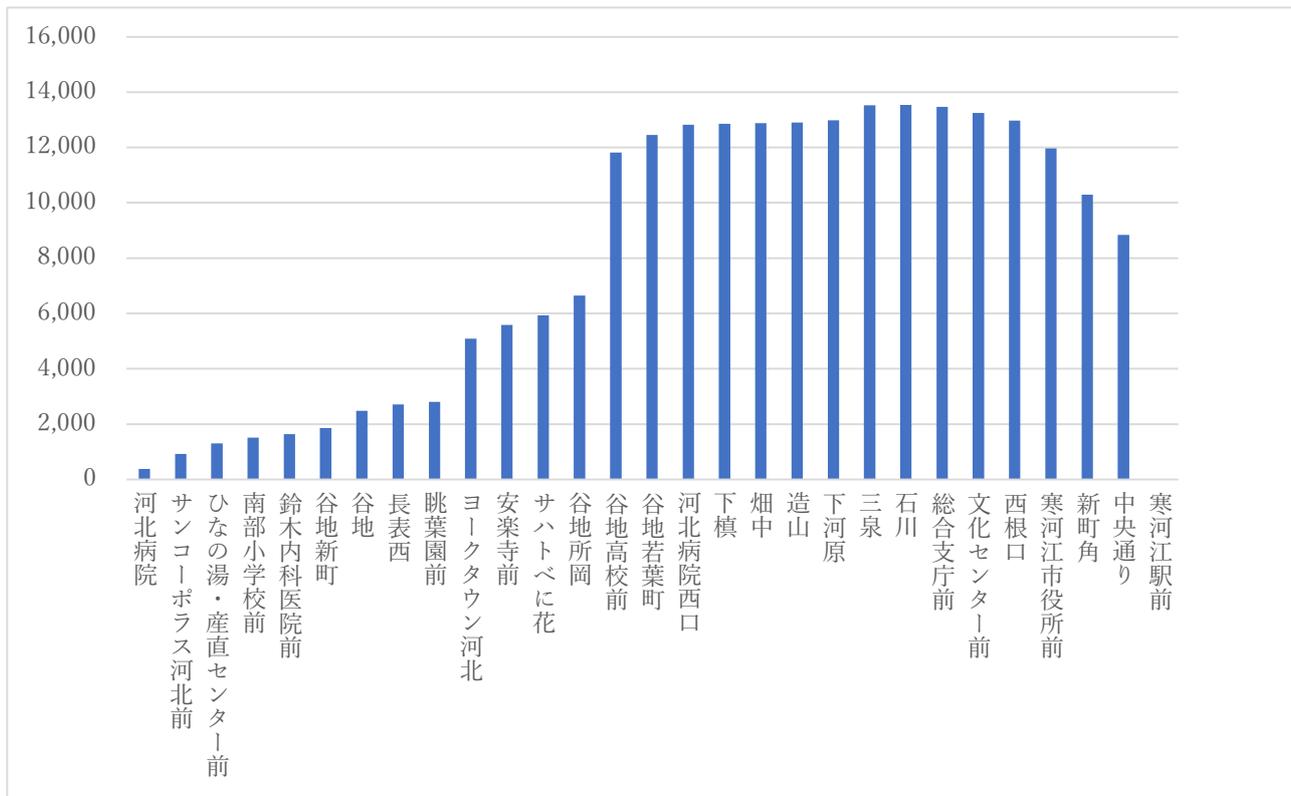
(LocationMind xPop © LocationMind Inc. ※)

※ 「LocationMind xPop」データは、NTTドコモが提供するアプリケーションの利用者より、許諾を得た上で送信される携帯電話の位置情報を、NTTドコモが総体的かつ統計的に加工を行ったデータ。位置情報は最短5分毎に測位されるGPSデータ（緯度経度情報）であり、個人を特定する情報は含まれない。

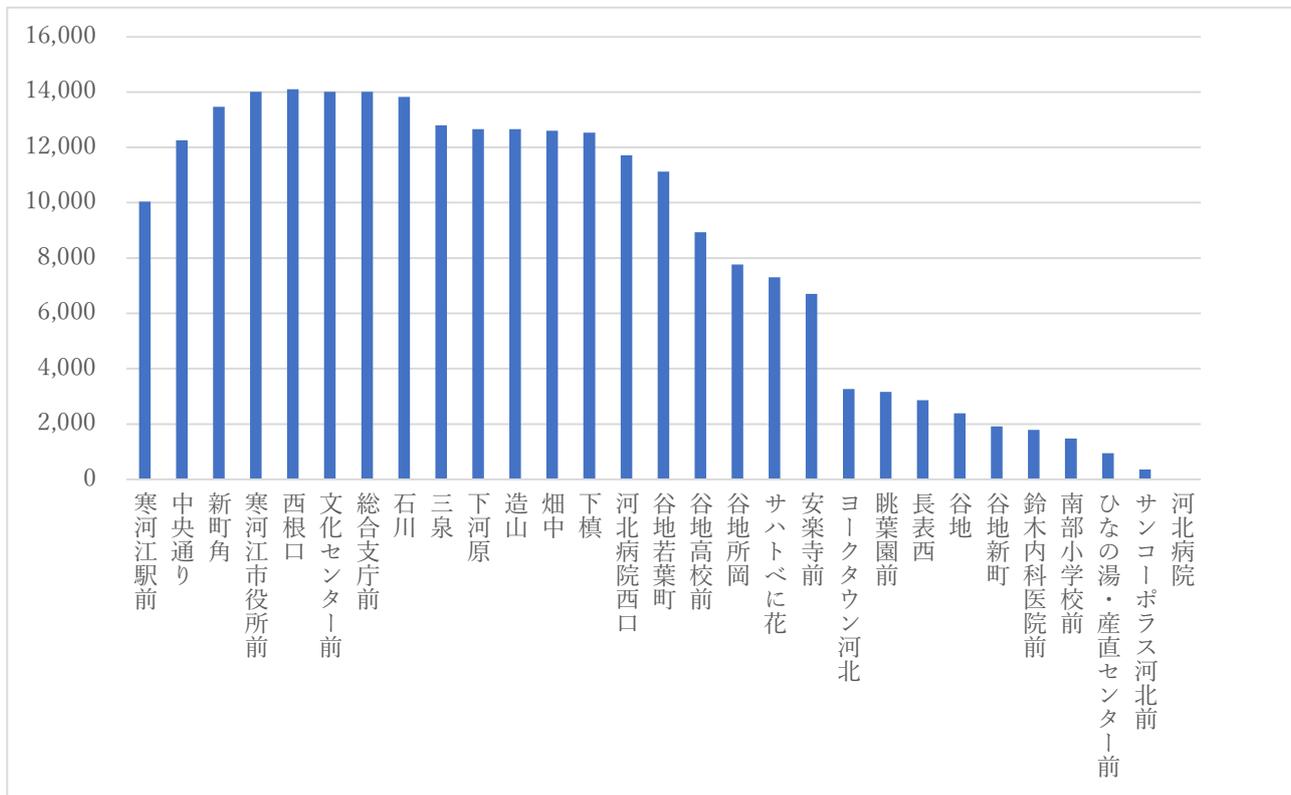
○山交バスの利用状況（河北病院⇄寒河江駅前）について

当該バス停から次バス停までの通過人員（令和5年4月1日～令和6年3月31日）（単位：人）

・河北病院⇒寒河江駅前



・寒河江駅前⇒河北病院



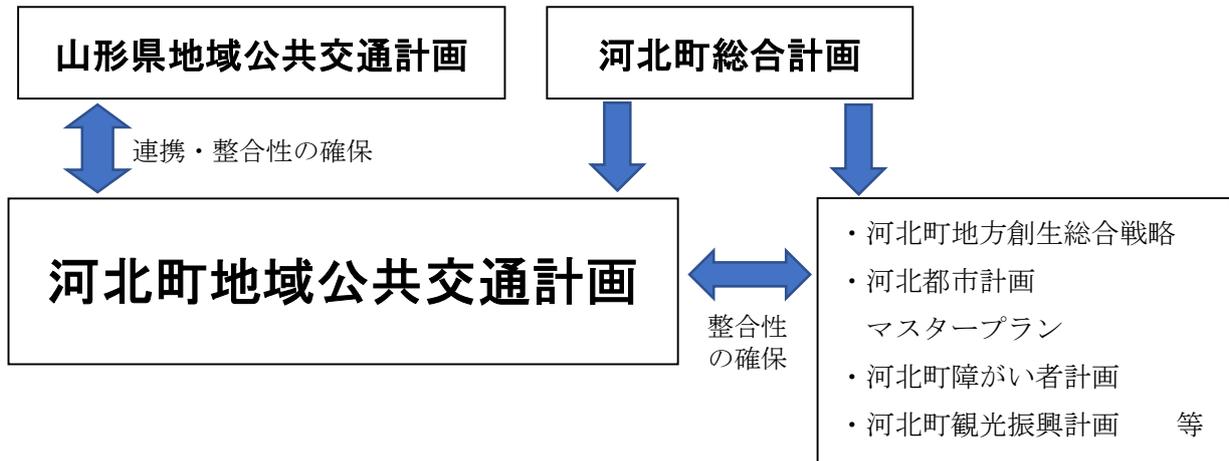
山交バス寒河江谷地線の利用者数（乗降客数）データより

○計画の位置づけ（上位計画・関連計画の整理）

本計画は、「地域公共交通の活性化及び再生に関する法律(平成19年法律第59号)第5条の規定に基づき策定するものです。

当町の上位計画である「河北町総合計画」に即した、公共交通のマスタープランとして位置づけられ、また、関連計画との整合性も確保する計画となっています。

計画の位置づけ



主な上位計画・関連計画

令和8年3月現在

計画名・計画期間	本計画に関連する内容
第8次河北町総合計画 (令和3年3月制定) 令和8年4月 ~令和13年3月 (後期基本計画)	基本計画 第1章 つながりを生む住みよい町 第1節 立地条件を活かした都市づくり 1 交通ネットワークの充実 基本的施策 (4) 地域公共交通計画に基づく地域公共交通の再構築 ア 通勤・通学や買い物・通院などの利用ニーズに対応するため、通学支援や情報発信を通じて利用促進を図るとともに、河北町の地域公共交通計画を策定し、地域公共交通の再構築を推進します。また、計画に基づき、公共交通の再編や多様な交通手段の導入などを検討し、公共交通に関する課題に対して計画的かつ継続的に対応します。特に、西村山地域医療の中核となる新病院への交通アクセスの確保に向けて着実に推進します。 イ 周辺駅や空港への交通アクセスの充実に努めるとともに、町営バスと路線バス・鉄道などの公共交通機関同士の接続を良くするなどの利便性の向上に努めながら、各路線バスの維持を図ります。 ウ 近隣市町村や、仙台市との交通アクセス強化に向け、山形県地域公共交通計画に基づいて、県・近隣市町村と連携した広域的な公共交通の維持・確保について調査検討します。

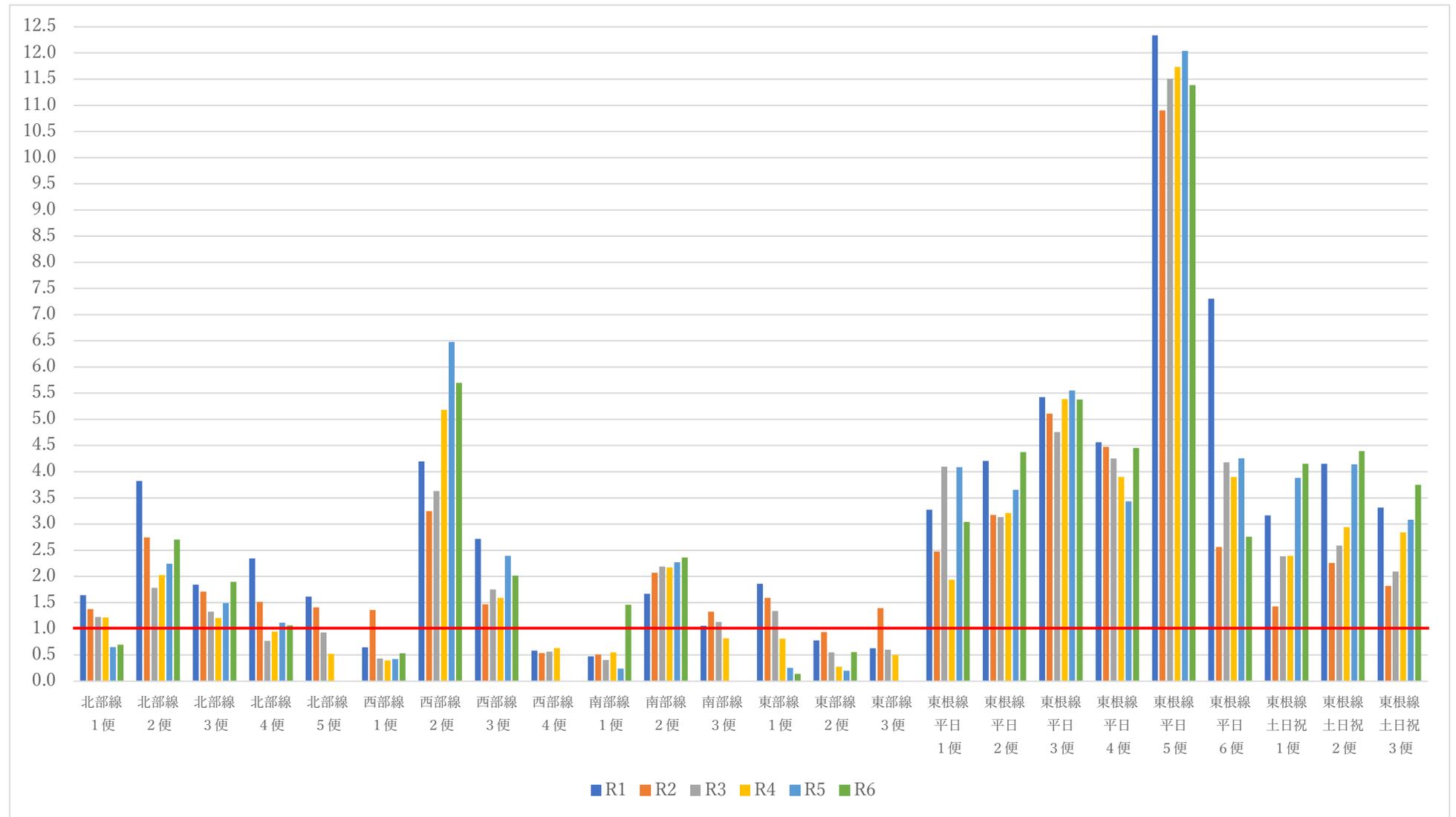
<p>第8次河北町総合計画 (令和3年3月制定) 令和8年4月 ～令和13年3月 (後期基本計画)</p>	<p>基本計画 第4章 新たな魅力を発信しにぎわいのある町 第3節 地域の宝を活用した発信 1 観光資源の発掘・整備と発信 基本的施策(1) 既存観光資源の整備充実 ア 紅花資料館内外の施設や景観、展示資料などの整備を図ります。 イ 紅染め、農業、そば打ちなどの体験観光を推進します。 ウ 歴史と伝統を活かしながら、谷地ひなまつり、べに花まつり、谷地どんがまつりの充実を図ります。 エ 観光資源などを案内する標識について、計画的な設置・修繕・更新に努めます。 オ 体験農業などの観光情報の発信を図るとともに、地元農産物を活用した積極的な誘客運動に努めます。 カ リニューアルした児童動物園のブランディングによる魅力向上を図り、町の観光振興の牽引資源としてさらなる誘客とにぎわいづくりにつなげます。 キ 児童動物園やいもこ列車、サハトべに花全天周劇場のプラネタリウムなど、町の資源の連携により誘客に努めます。</p>
<p>第3期河北町 地方創生総合戦略 (令和8年3月制定) 令和8年4月 ～令和13年3月</p>	<p>V 基本目標 4 安全・安心で活力ある「かほく」をつくる 《基本的方向》 (3)いきいきと活躍できるまちづくりに取り組みます。 《指標 (K P I) 》 ○町内公共交通利用者数 《具体的施策》 ○地域公共交通の再構築による利便性向上 ・地域公共交通計画に基づく計画的な施策の実施 ・交通事業者や地域住民との連携による新たな移動手段の検討</p>
<p>河北都市計画 マスタープラン (平成29年3月制定) 平成29年4月 ～令和19年3月</p>	<p>第3章 全体構想 3-2 交通体系の方針 3-2-2 公共交通の方針 ・計画的な公共交通網の維持方針の検討 ・町営路線バスの利用促進 ・民間バスも含めた各路線バスの維持 ・山形新幹線に合わせた公共交通機関の充実 ・仙台市への交通アクセス強化</p>

<p>第5次河北町障がい者計画 (令和8年3月制定) 令和8年4月 ～令和13年3月</p>	<p>第4章 基本計画 第6節 生活環境の整備 基本的施策 4 交通・移動手段の支援 障がいのある人自身をはじめ、家族の介護などでの移動手段が多様化していることを踏まえ、福祉タクシー券や福祉給油券の発行、町営路線バスの運賃減免、自動車改造費・自動車運転免許取得費への助成、自動車税の減免など、移動手段について積極的に支援します。 また、交通が不便な地域においては、NPO法人等の安価な福祉有償運送事業などを活用し、障がいのある人の移動手段の確保を図ります。</p>
<p>第3次河北町観光振興計画 (令和6年3月制定) 令和6年4月 ～令和14年3月</p>	<p>第5章 振興戦略 2 観光ルート・交通戦略 (2) 基本戦略 ①公共交通機関の利便性向上 ②二次交通手段の整備 ③円滑な道路通行条件の整備 ④魅力ある観光ルートの整備</p>

○路線別・便別の1便あたりの利用者数

・令和元年度から令和6年度までの路線別・便別の1便あたりの利用者数

(単位：人)



町営バスの利用状況報告書より（詳細は巻末に記載）

○おでかけカルテ及びアンケート調査の分析結果（区長・民生委員）

【目的】地区住民の皆さんがよく行くおでかけの目的地を聞いて、地域の移動に関する大まかな流れを把握する。

○実施時期：令和6年10月（郵送による配布・回収）

○発送数及び回収率について

区長		民生委員	
発送	108	発送	44
回収	92	回収	41
回収率	85.185%	回収率	93.182%

○移動先（目的地）トップ5（小学校区単位で集計、回答件数と利用頻度から点数化）

・西里小学校区

	買い物	通院	楽しみ
1位	ヤマザワ	河北病院	友人の家
2位	ヨークベニマル	谷地整形	散歩
3位	ウエルシア	すみや眼科	習い事
4位	クスリのアオキ	青木医院	ひなの湯
5位	薬王堂	斉藤医院	ドライブ

・溝延小学校区

	買い物	通院	楽しみ
1位	ヤマザワ	谷地整形	散歩
2位	ヨークベニマル	河北病院	友人の家
3位	薬王堂	すみや眼科	習い事
4位	クスリのアオキ	公立病院	イオンモール天童
5位	おーばん	県立中央病院	なでしこ広場

・北谷地小学校区

	買い物	通院	楽しみ
1位	ヨークベニマル	河北病院	散歩
2位	ヤマザワ	すみや眼科	習い事
3位	クスリのアオキ	谷地整形	友人の家
4位	薬王堂	県立中央病院	ドライブ
5位	ウエルシア	板坂医院	イオンモール天童

・谷地中部小学校区

	買い物	通院	楽しみ
1位	ヨークベニマル	河北病院	散歩
2位	ヤマザワ	つかさ内科	友人の家
3位	クスリのアオキ	谷地整形	ドライブ
4位	イオンモール天童	すみや眼科	フォーラム東根
5位	薬王堂	和田医院	習い事

・谷地西部小学校区

	買い物	通院	楽しみ
1位	ヤマザワ	河北病院	ひなの湯
2位	ヨークベニマル	つかさ内科	カーブス
3位	クスリのアオキ	谷地整形	散歩
4位	イオンモール天童	すみや眼科	友人の家
5位	アグリランドひな産直	かほく紅花クリニック	イオンモール天童

・谷地南部小学校区

	買い物	通院	楽しみ
1位	ヤマザワ	つかさ内科	ドライブ
2位	ヨークベニマル	河北病院	散歩
3位	クスリのアオキ	谷地整形	友人の家
4位	イオンモール天童	すみや眼科	フォーラム東根
5位	アグリランドひな産直	県立中央病院	ひなの湯

○移動先（目的地）について

- ・主たる買い物は、週単位で町内店舗（ヤマザワ谷地店等の大型店）に行っている。
- ・主たる通院は、月単位で町内医療機関（河北病院等）に行っている。
- ・楽しみの移動は、町内外問わず、様々な場所へ行っている。

【問】住民同士が乗せあう移動サービスについて

①地域住民で協力しあえる雰囲気がある	10
②どちらともいえない	53
③地域住民で協力しあえる雰囲気はない	22

ノッカルのような住民同士が乗せあう移動サービスは住民の意識醸成がなされていない。「制度の周知」や「意識の醸成」という段階であり、今後の検討を見据えてPR（問題提起を含む）していく必要がある。

○アンケート調査の分析結果

・アンケート調査の分析結果（中学生保護者）

【目的】子どもの通学実態や今後の公共交通の改善に向けた意見を把握する。

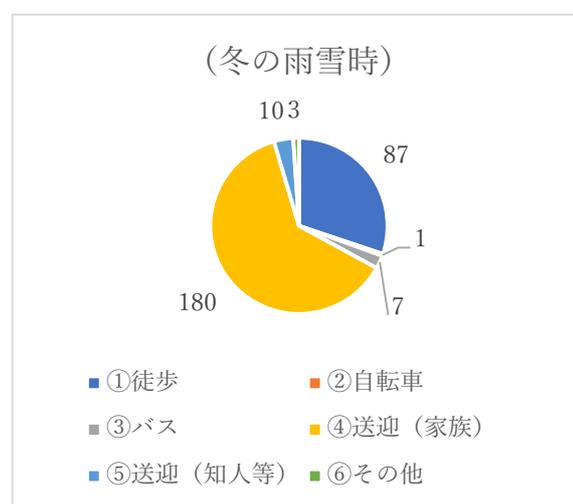
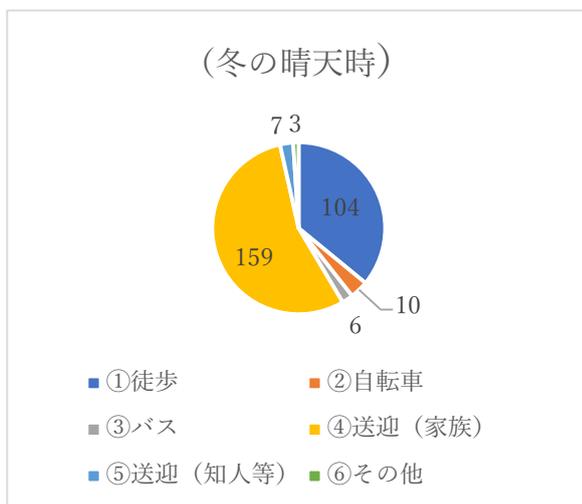
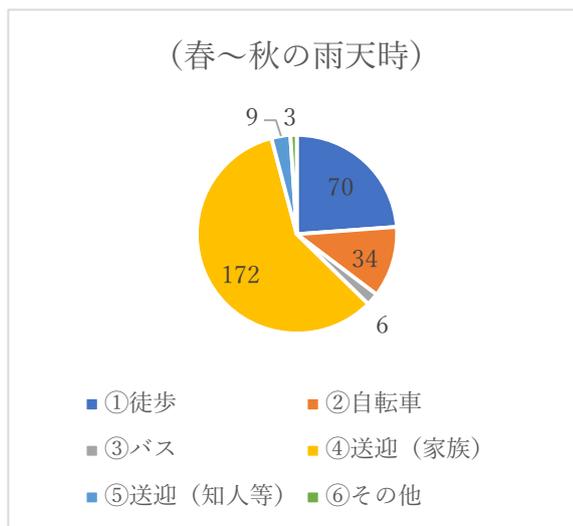
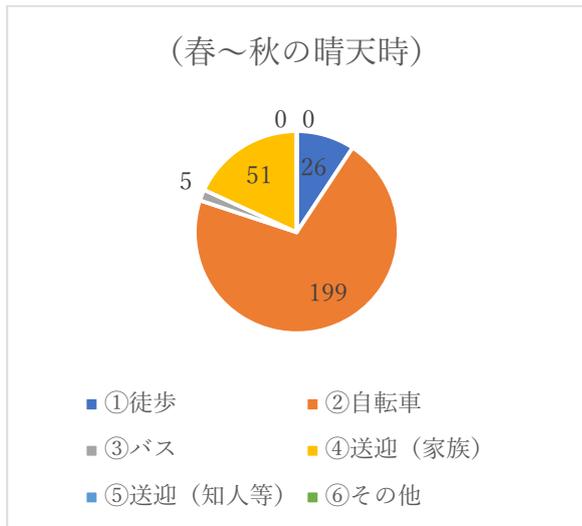
・実施時期：令和6年10月（郵送による配布・回収）

・発送数及び回収率について

中学生保護者	
発送	410
回収	215
回収率	52.439%

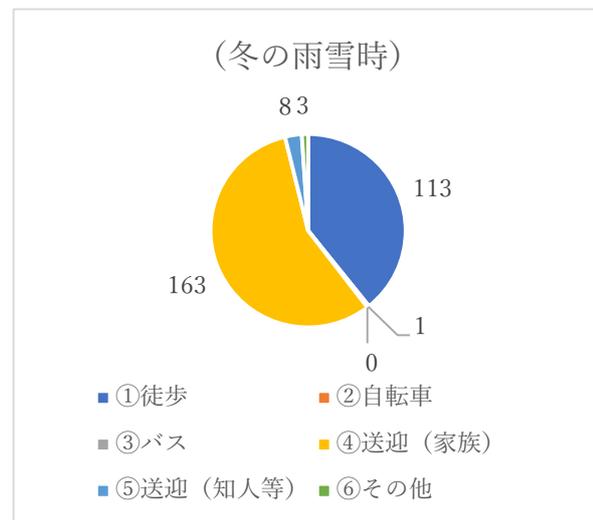
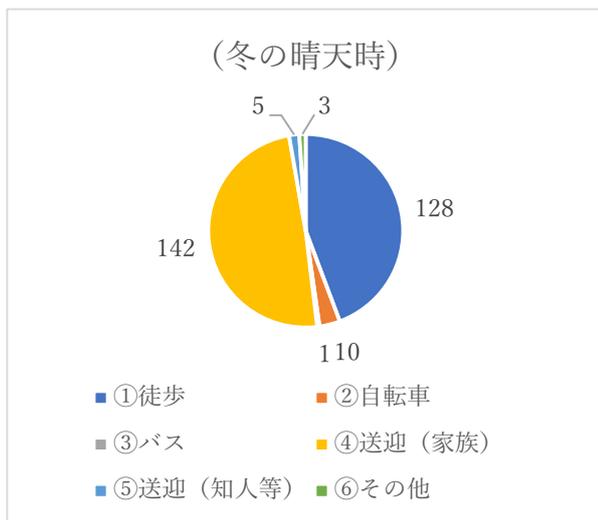
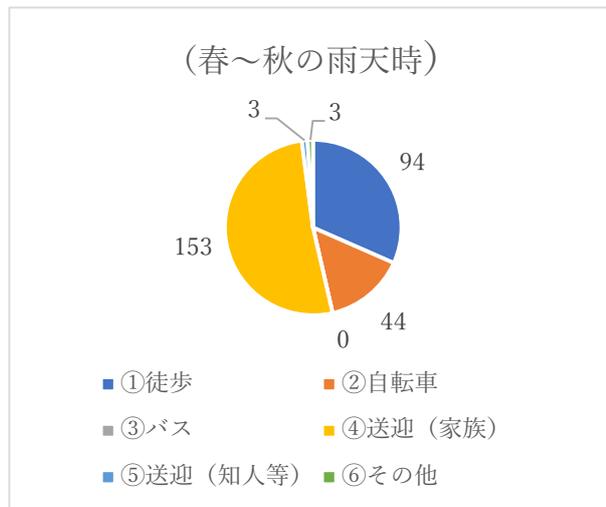
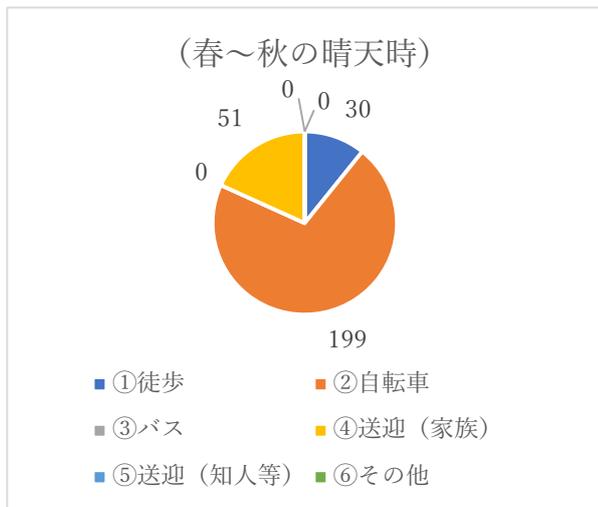
【問1】お子様の登校（学校に行く）時の通学方法について

冬や雨天時などの天候不順な時に、「①徒歩と②自転車」が「④送迎（家族）と⑤送迎（知人等）」になっている。「③バス」は時期や天候でも変化が無いことから、少数の固定された利用しか無い。登校手段の選択肢に「③バス」が選ばれていない。



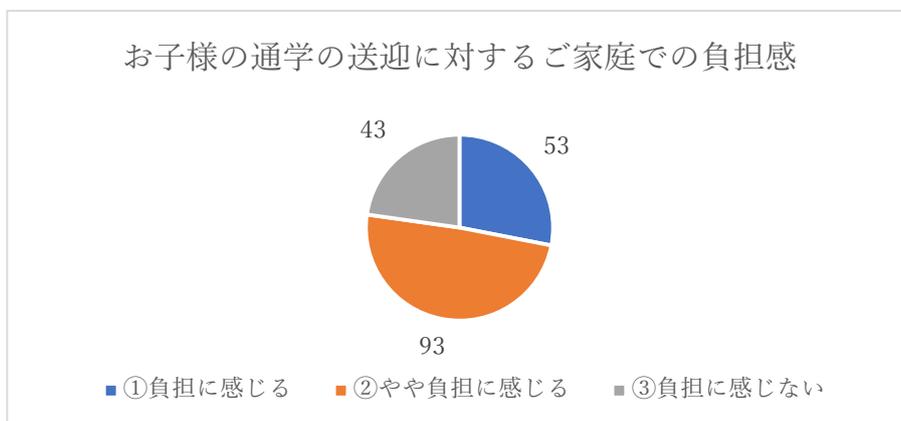
【問2】 お子様の下校（学校から帰る）時の通学方法について

冬や雨天時などの天候不順な時に、「①徒歩と②自転車」が「④送迎（家族）と⑤送迎（知人等）」になっている。「③バス」は利用が無い。下校手段の選択肢に「③バス」が選ばれていない。



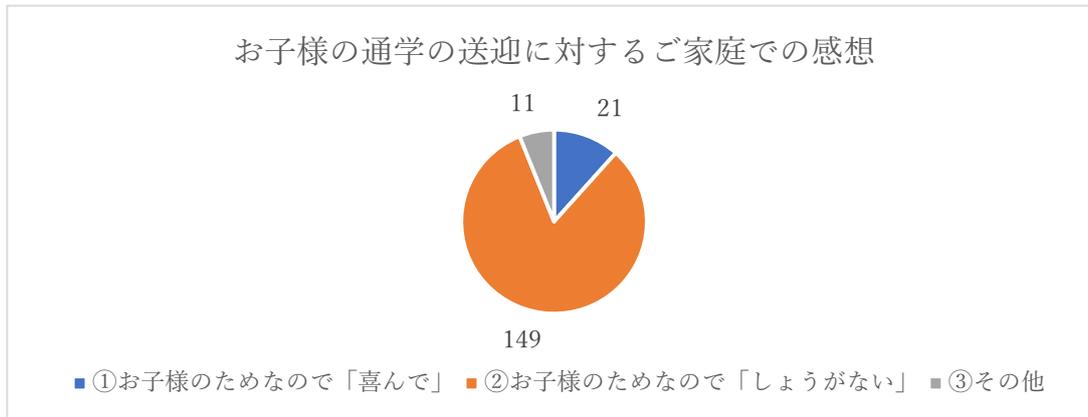
【問3】 お子様の送迎についてのご家庭での考え

「①負担を感じる」53件「②やや負担を感じる」93件と合計すると75%以上の保護者が送迎に負担を感じている。



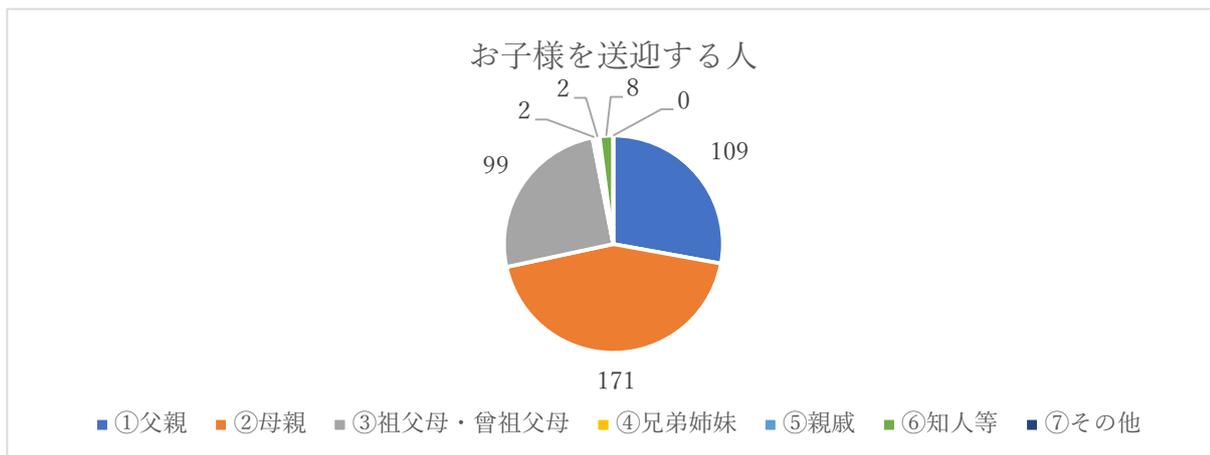
【問3続】 お子様の通学の送迎に対するご家庭での感想について

「②お子様のためなのではないか」149件と80%以上の保護者が負担感はあるながらも、しょうがないと思っている。



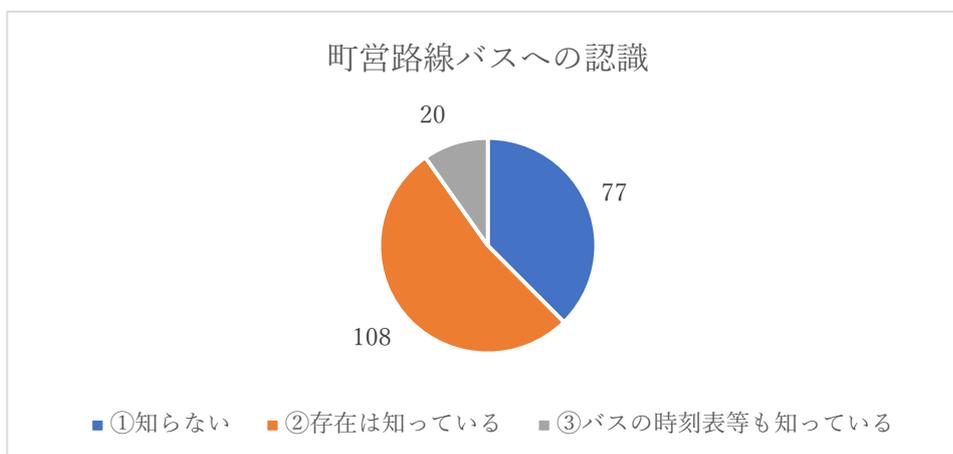
【問3続】 お子様を送迎する人

「①父親」109件、「②母親」171件、「③祖父母、曾祖父母」99件と両親だけでなく、祖父母等も送迎している。



【問4-1】 町営路線バスへの認識

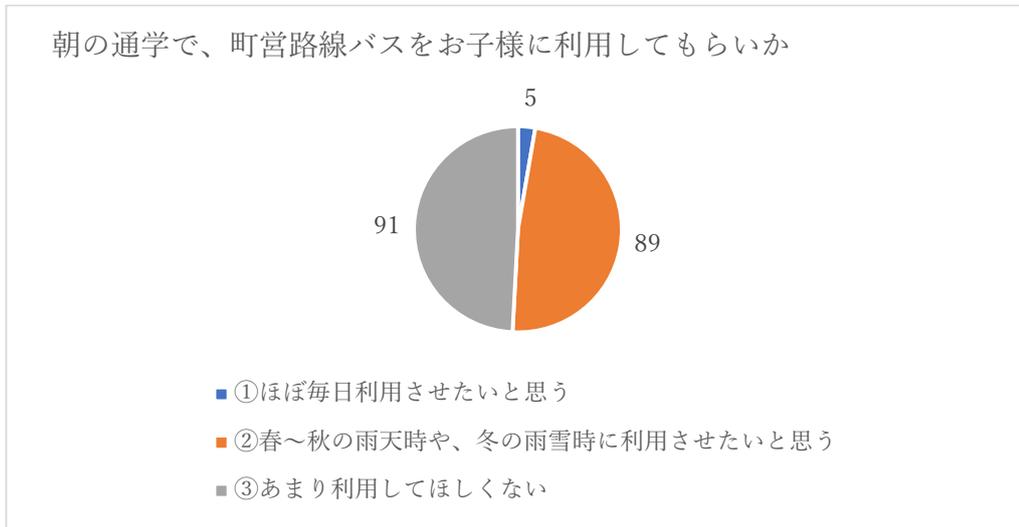
「③バスの時刻表等も知っている」が20件であり、割合にすると10%未満となっている。バスというものが登校手段に選ばれていないため、時刻表等の詳細な情報が周知されていない。



【問4-2】朝の通学で、町営路線バスをお子様にご利用してもらいたいか

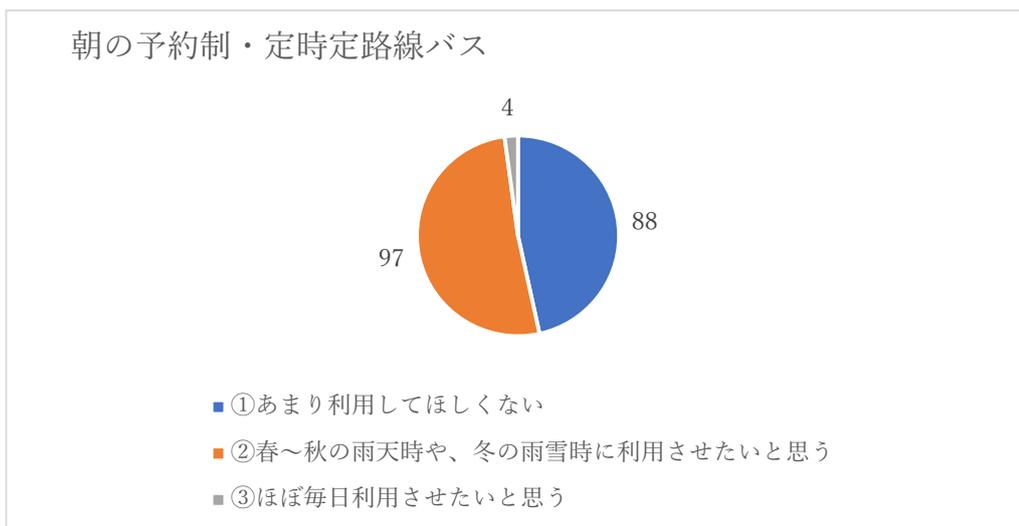
【問4-3】問4-2のように答えた理由は

「①ほぼ毎日利用させたいと思う」5件、「②春～秋の雨天時や、冬の雨雪時に利用させたいと思う」89件、「③あまり利用してほしくない」91件となっている。利用してほしくないの理由として、バスを利用するほどの距離ではないということもあるが、時間が早すぎる、遠回りになる、バス停まで遠い、送迎の方が早いという意見がある。利用させるとしても天候不順時や送迎の負担軽減というスポット利用が多い。



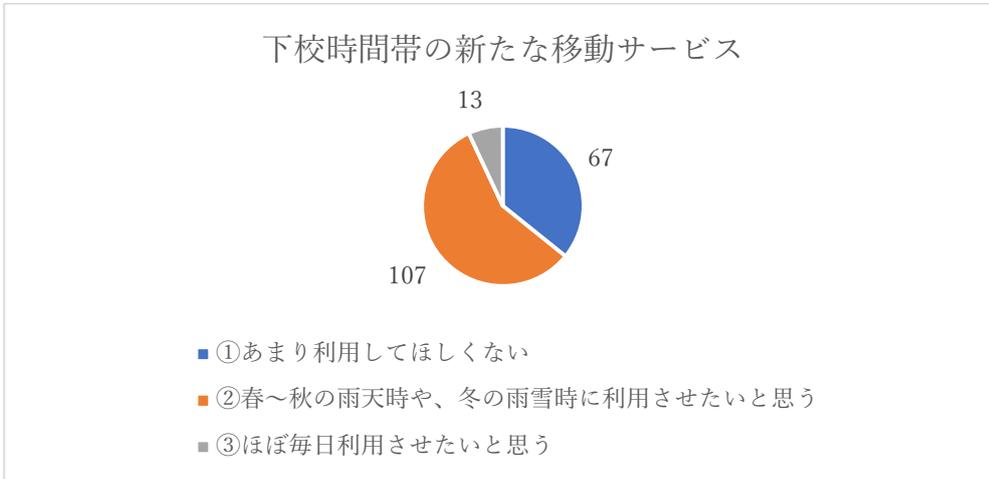
【問5】朝の定時定路線バスを予約制にして、予約があった時だけ定時定路線バスを走らせることにした場合、お子様にご利用してもらいたいか

「①あまり利用してほしくない」88件、「②春～秋の雨天時や、冬の雨雪時に利用させたいと思う」97件、「③ほぼ毎日利用させたいと思う」4件となっており、利用させるとしても天候不順時というスポット利用が多い。



【問6】下校時間帯に、学校から自宅最寄りの乗降場所まで安価に利用できる新たな移動サービスを走らせることにした場合、お子様に利用してもらいたいのか

「①あまり利用してほしくない」67件、「②春～秋の雨天時や、冬の雨雪時に利用させたいと思う」107件、「③ほぼ毎日利用させたいと思う」13件となっており、利用させるとしても天候不順時というスポット利用が多い。



【問6続】下校時間帯の新たな移動サービスを何時頃に利用させたいか

・学校の授業が終わった後に、__時頃に出発するなら、利用させたいと思う

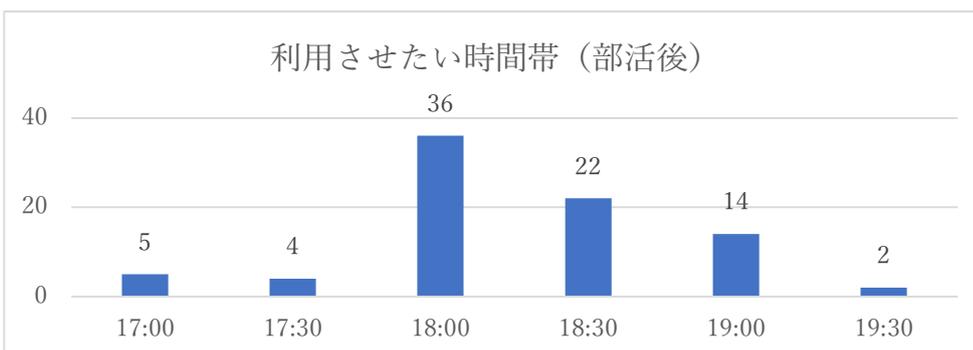
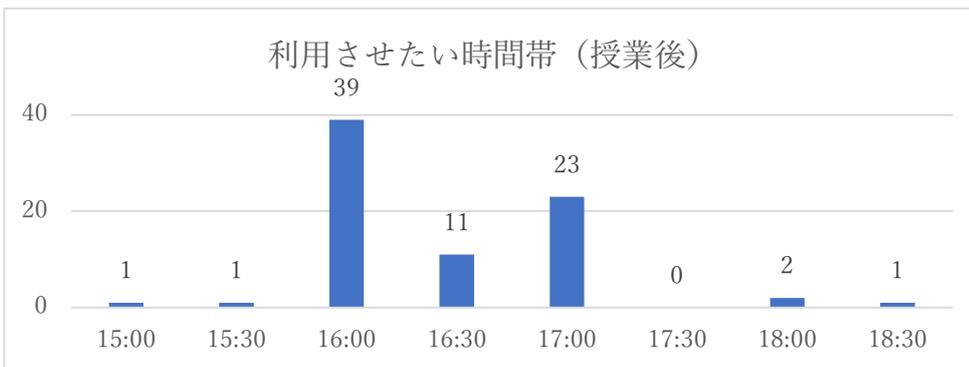
「16:00」39件、「16:30」11件、「17:00」23件と16時～17時に合計73件であった。

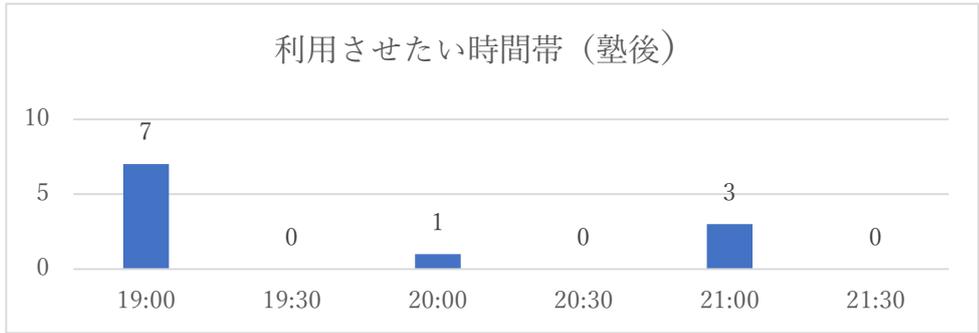
・部活が終わった後に、__時頃に出発するなら、利用させたいと思う

「18:00」36件、「18:30」22件、「19:00」14件と18時～19時に合計72件であった。

・塾や習い事が終わった後に、__時頃に出発するなら、利用させたいと思う

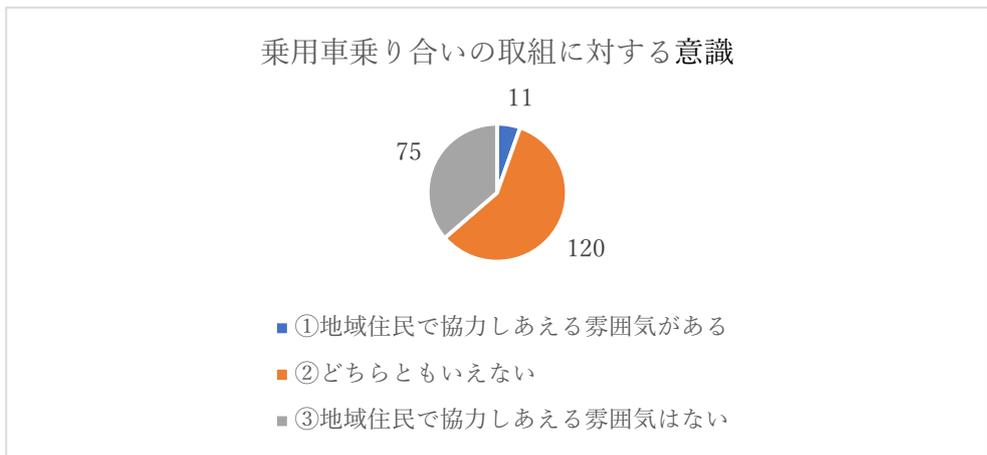
「19:00」7件、「20:00」1件、「21:00」3件と時間帯はバラバラに合計11件であった。





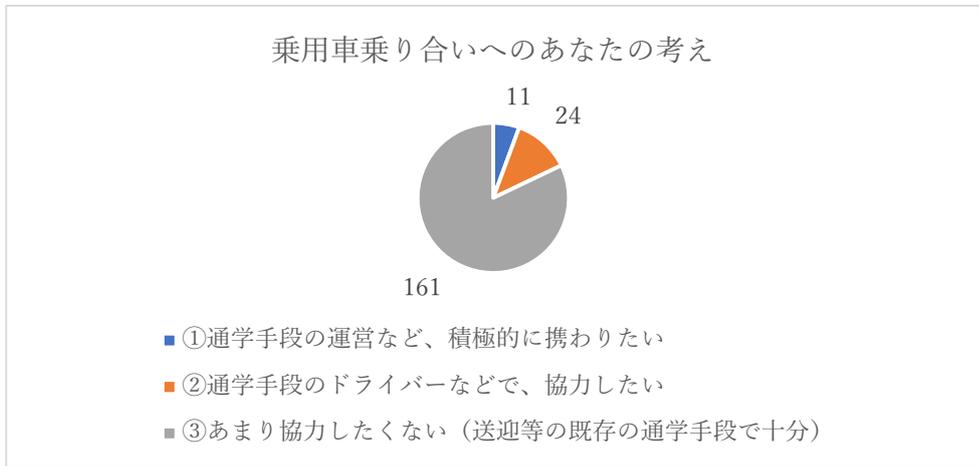
【問7】あなたがお住まいの地区では、「行政や交通事業者の協力も得ながら、地域住民が主体となって子どもたちの通学手段をつくり、自ら走らせている」という取り組みを行えるような雰囲気はあるか

「①地域住民で協力しあえる雰囲気がある」11件、「②どちらともいえない」120件、「③地域住民で協力しあえる雰囲気はない」75件と、導入について前向きな雰囲気が1割も無い。今後の意識醸成に向けた取り組みが必要である。



【問8】もし、地域住民が主体となって子どもたちの通学手段をつくった場合、あなた自身は協力するか

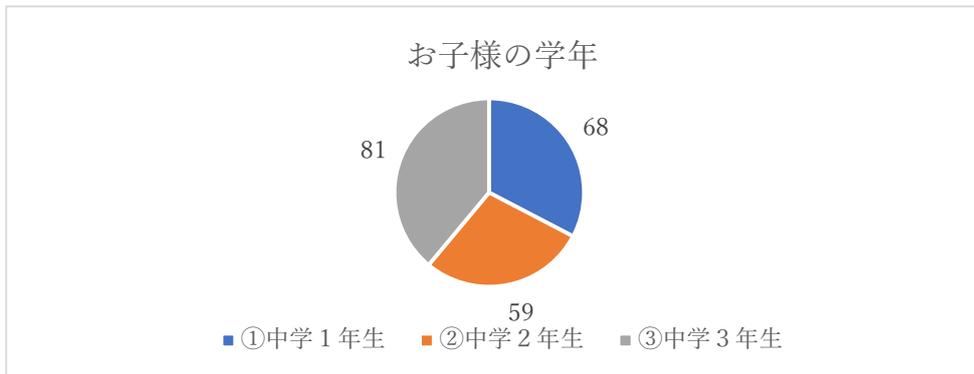
「①通学手段の運営など、積極的に携わりたい」11件、「②通学手段のドライバーなどで、協力したい」24件、「③あまり協力したくない（送迎等の既存の通学手段で十分）」161件と、協力していききたいという意見が2割も無い。今後の意識醸成に向けた取り組みが必要である。



【問9】 お子様とあなた自身のことについてお聞かせください。

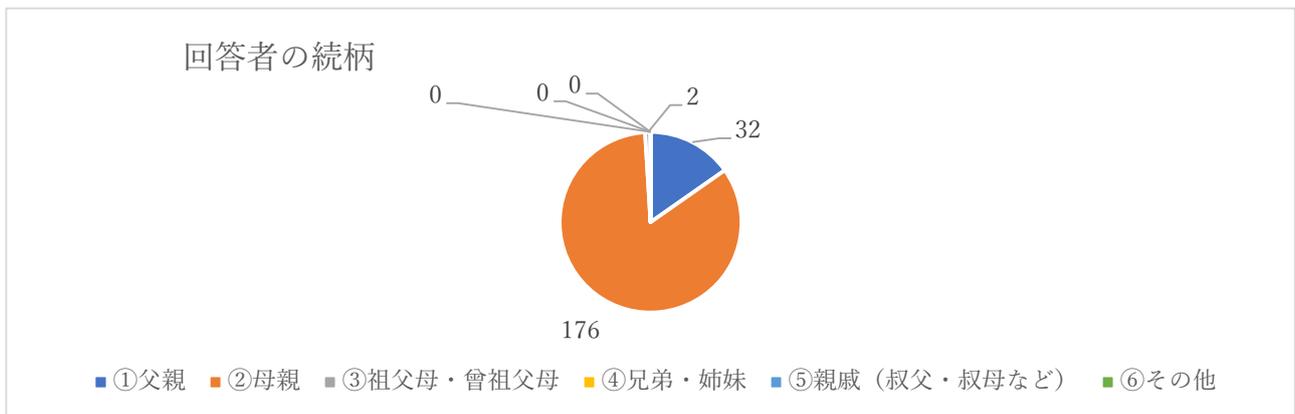
【お子様の学年】

「①中学1年生」68件、「②中学2年生」59件、「③中学3年生」81件と、学年ごとの回答に偏りはほぼ無い。



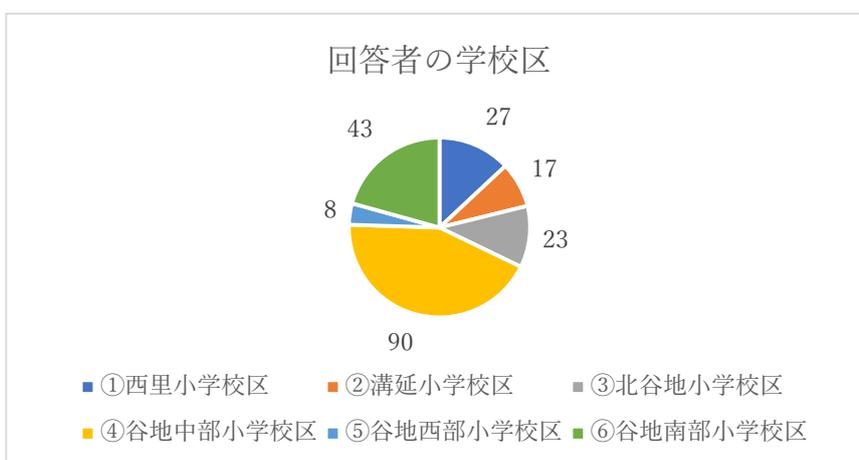
【あなた（回答者）の続柄】

「①父親」32件、「②母親」176件、「③祖父母、曾祖父母」2件と約8割が母親の回答であった



【お住まいの校区】

「①西里小学校区」27件、「②溝延小学校区」17件、「③北谷地小学校区」23件、「④谷地中部小学校区」90件、「⑤谷地西部小学校区」8件、「⑥谷地南部小学校区」43件と小学校区の児童数により回答数に違いがあるが、全ての小学校区から回答を得られた。



・アンケート調査の分析結果（高校生保護者）

【目的】子どもの通学実態や今後の公共交通の改善に向けた意見を把握する。

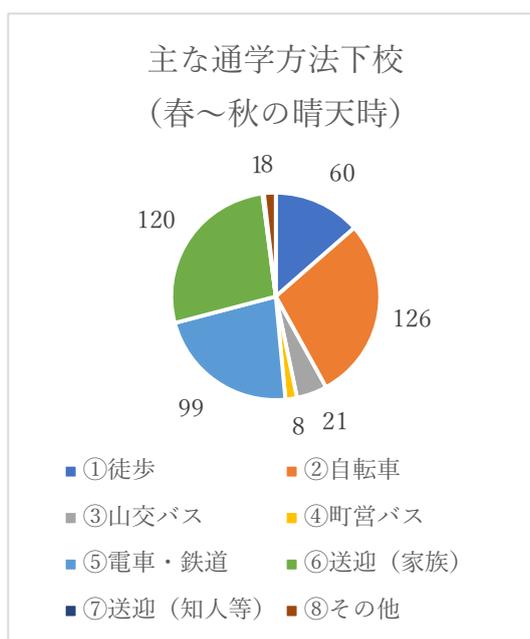
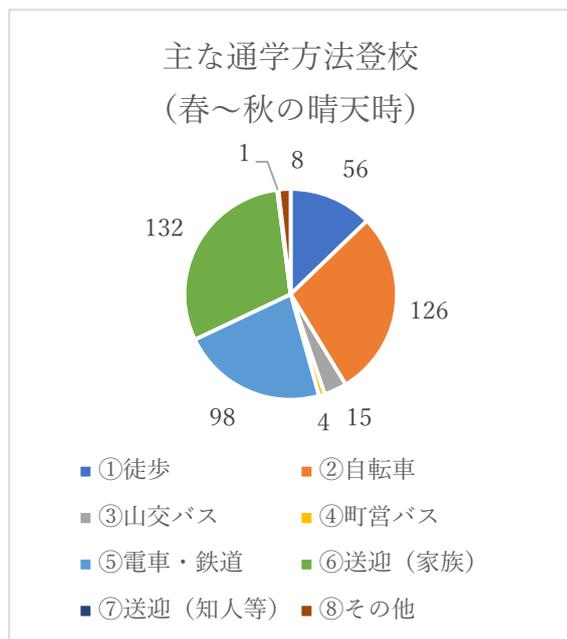
・実施時期：令和6年10月（郵送による配布・回収）

・発送数及び回収率について

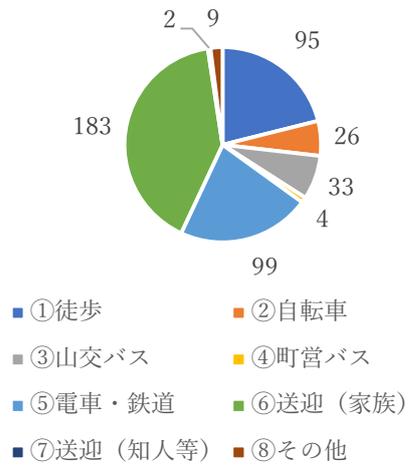
高校生保護者	
発送	439
回収	232
回収率	52.847%

【問1】お子様の通学方法について

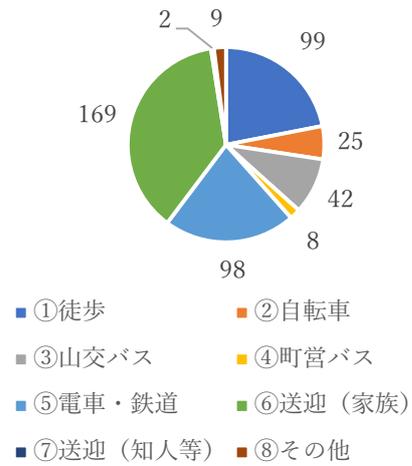
冬や雨天時などの天候不順な時に、「③山交バス」利用が10件程度増える。河北町⇄寒河江市の利用と考えられる。「⑥送迎（家族）」については、山形市方面の高校は季節や天候に関わらず数が一定のため、「通学方法が送迎」と決まっていると推測される。寒河江市方面の高校の場合、冬や雨天時などの天候不順な時に30件程度増える。通学方法について、自力で通学できない場合は送迎することが一般的になっている。



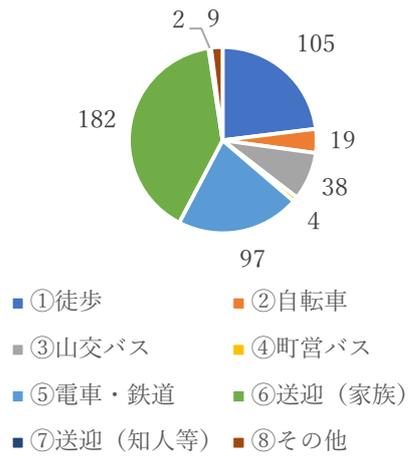
主な通学方法登校
(春～秋の雨天時)



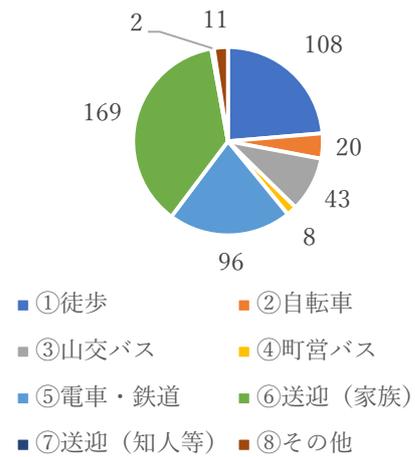
主な通学方法下校
(春～秋の雨天時)

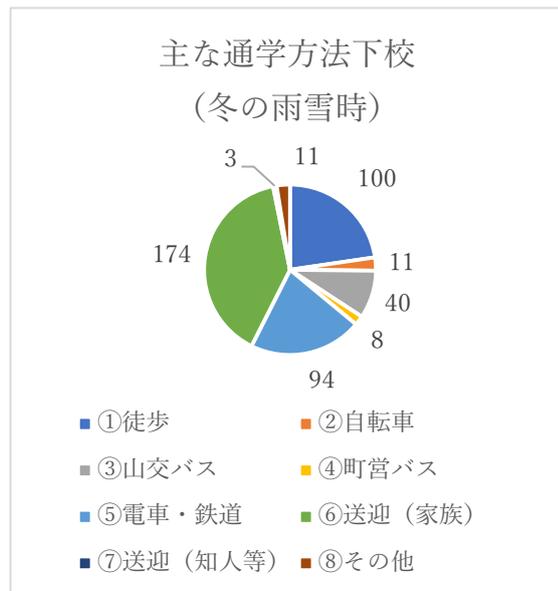
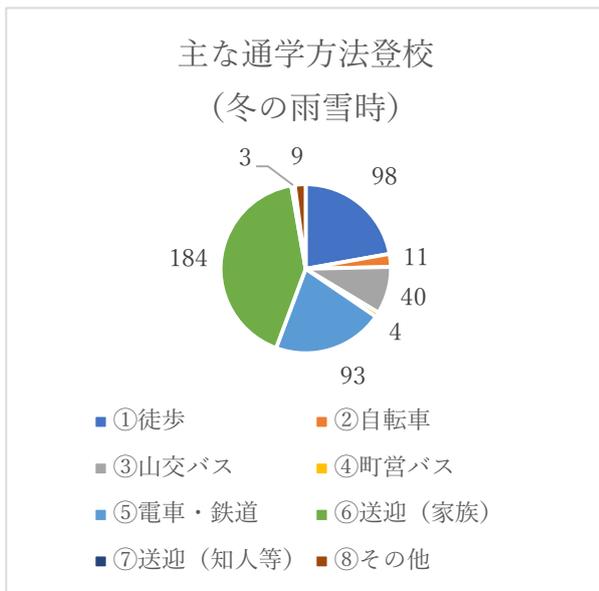


主な通学方法登校
(冬の晴天時)



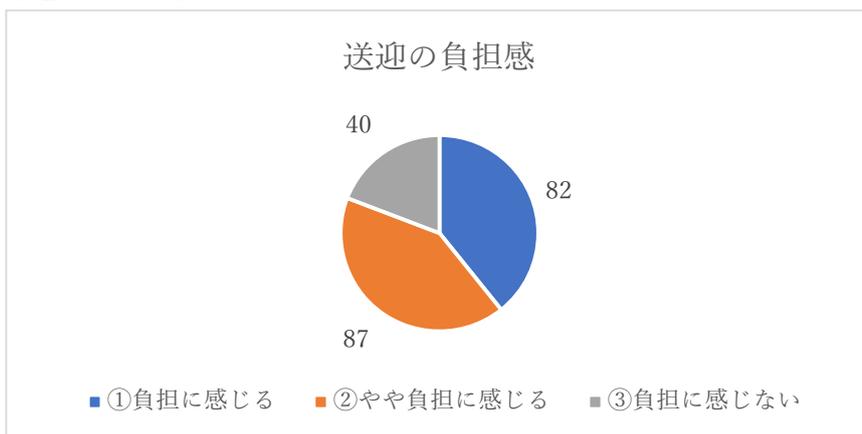
主な通学方法下校
(冬の晴天時)





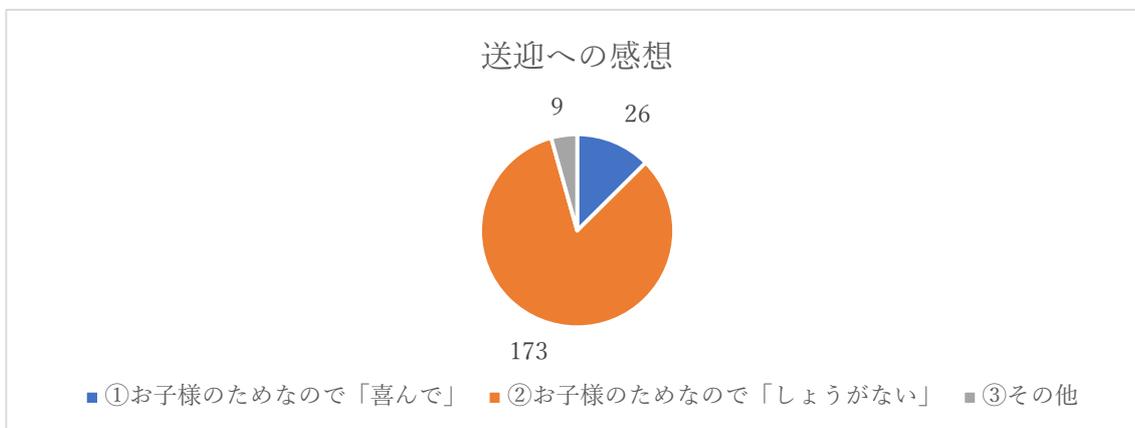
【問2】 お子様の送迎についてのご家庭での考え

「①負担を感じる」82件、「②やや負担を感じる」87件と合計すると80%以上の保護者が送迎に負担を感じている。



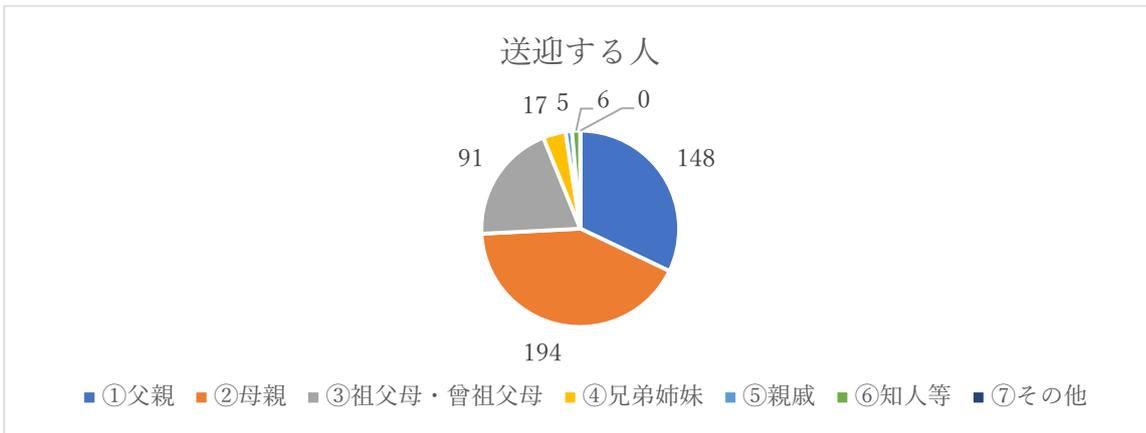
【問2続】 お子様の通学の送迎に対する考え

「②お子様のためなのではない」173件と80%以上の保護者が、負担感がありながらも、しょうがないと思っている。



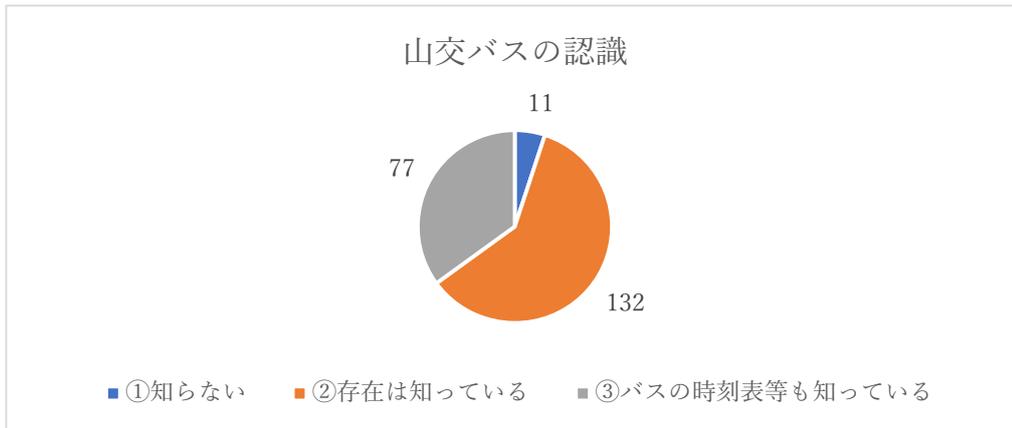
【問2続】 お子様を送迎する人 (いくつでも○)

「①父親」148件、「②母親」194件、「③祖父母、曾祖父母」91件と両親だけでなく、祖父母等も送迎している。



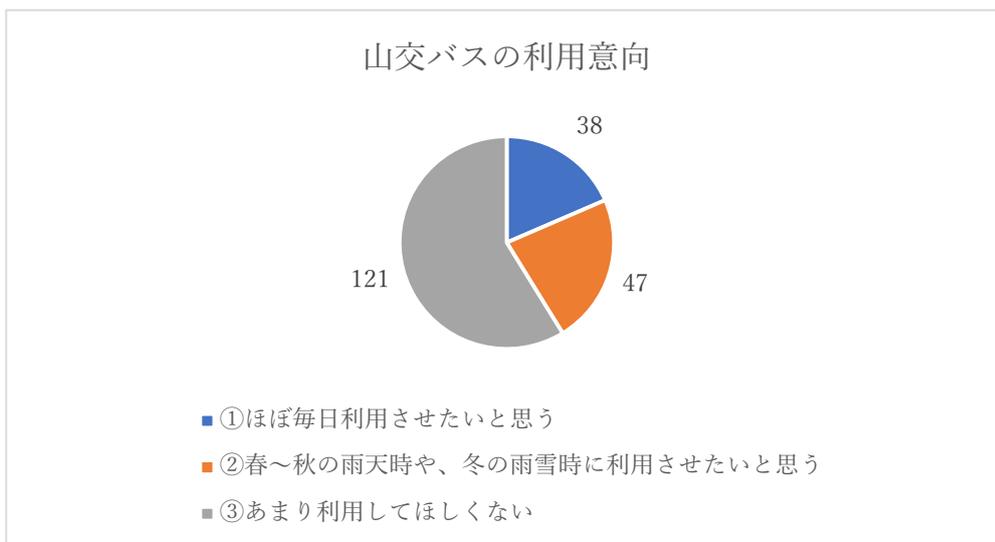
【問3-1】山交バスの路線バスへの認識

「③バスの時刻表等も知っている」が77件であり、割合にすると40%未満となっている。山交バスの存在は周知されているが、時刻表等の詳細な情報が周知されていない。



【問3-2】朝の通学で、山交バスをお子様にご利用してもらいたいのか

「①ほぼ毎日利用させたいと思う」38件、「②春～秋の雨天時や、冬の雨雪時に利用させたいと思う」47件、「③あまり利用してほしくない」121件となっている。

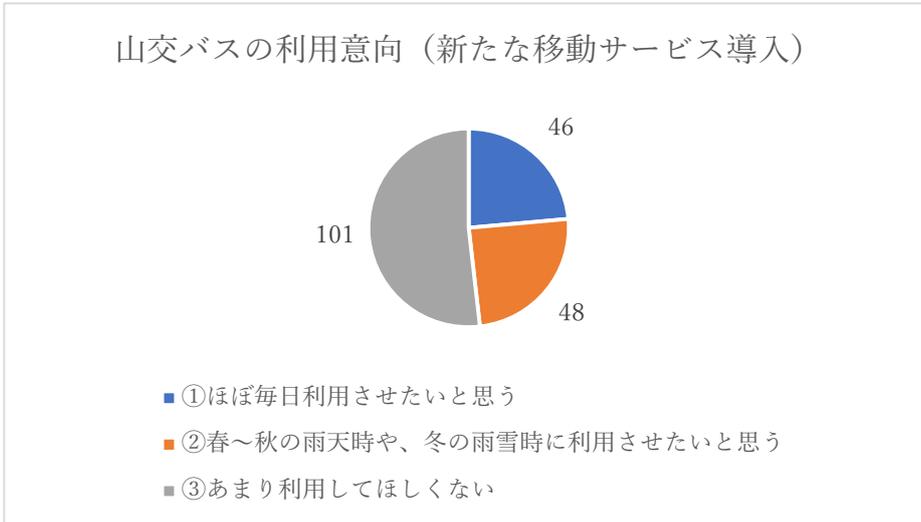


【問3-3】問3-2のように答えた理由

毎日利用させたいが約2割で、その理由は、送迎の負担軽減のための意見がある。利用させるとしても天候不順時、送迎の負担の面でスポット利用が約2割である。あまり理由してほしくないと思う方は約5割で、その理由は、谷地～寒河江線を利用していない、利用できないということもあるが、時間が合わない、送迎のほうが早い、料金の負担がある、最寄りのバス停まで遠いという意見となっている。

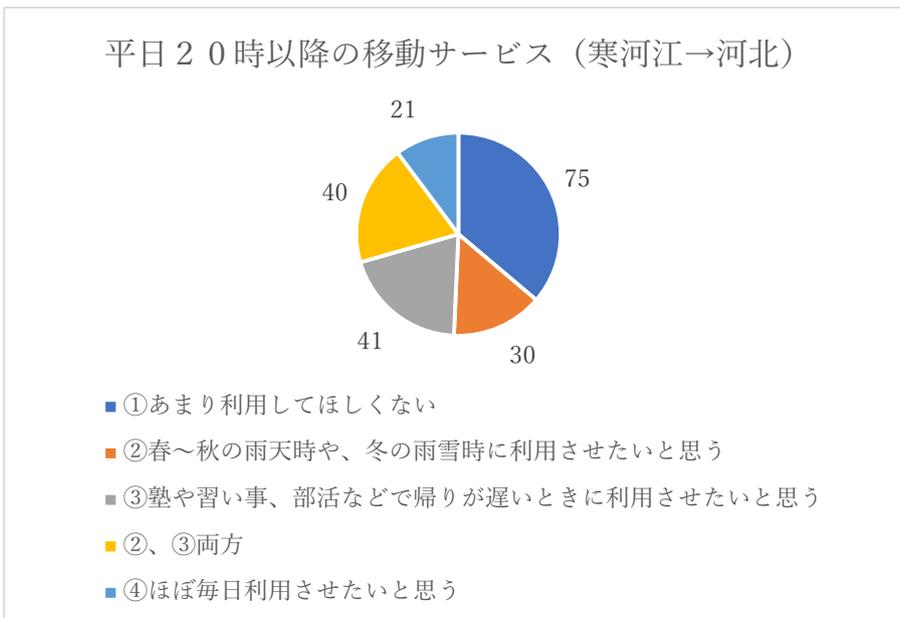
【問3-4】自宅最寄りの乗降場所から山交バスのバス停まで利用できる新たな移動サービスを走らせることにした場合、山交バスを通学に利用しようと思いますか。

「①ほぼ毎日利用させたいと思う」46件、「②春～秋の雨天時や、冬の雨雪時に利用させたいと思う」48件、「③あまり利用してほしくない」101件となっており、「問3-2」と比較しても件数の大きな変動が無い。



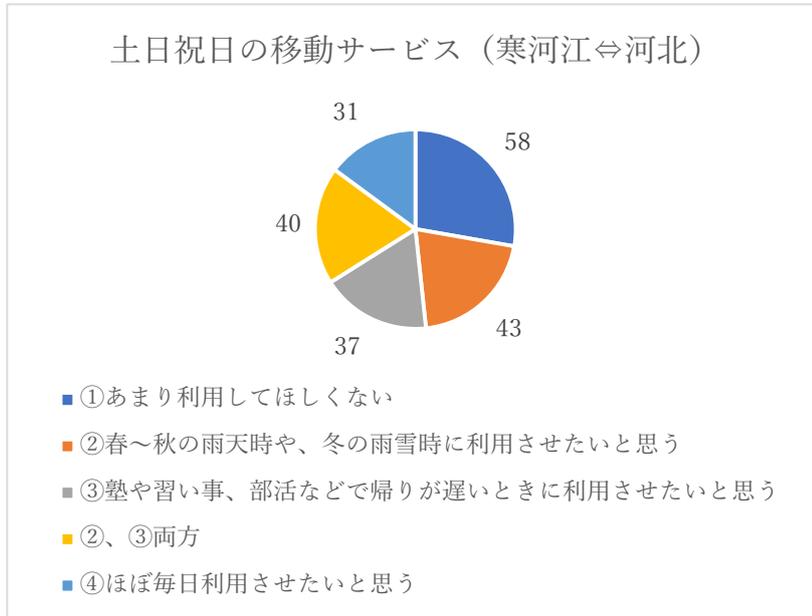
【問4-1】平日の20時以降に寒河江市から河北町まで利用できる新たな移動サービスを走らせることにした場合、お子様に利用してもらいたいのか

「①あまり利用してほしくない」75件、「②春～秋の雨天時や、冬の雨雪時に利用させたいと思う」30件、「③塾や習い事、部活などで帰りが遅いときに利用させたいと思う」41件、「②と③の両方」40件、「④ほぼ毎日利用させたいと思う」21件となっており、利用させるとしてもスポット利用が約半数、毎日の利用は約10%となっている。



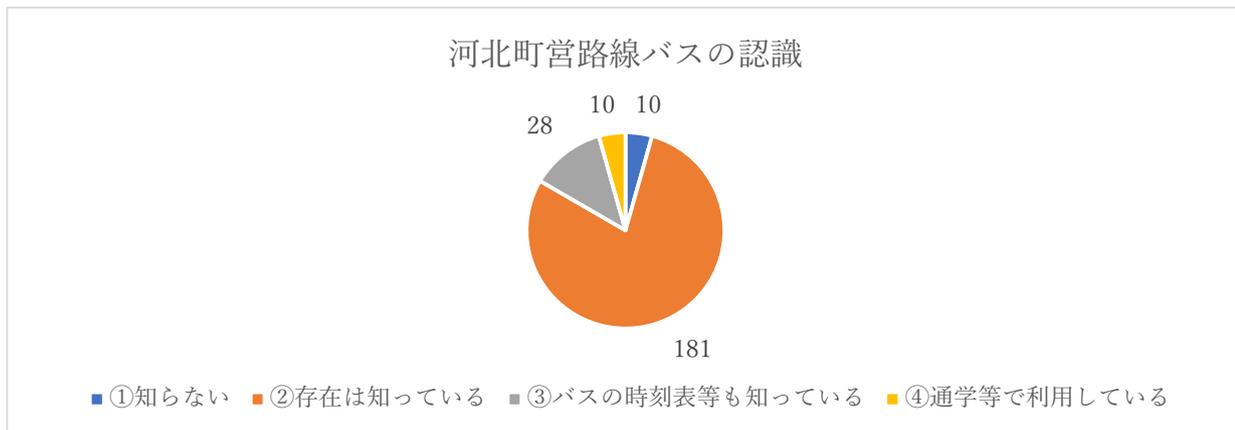
【問4-2】 土日祝日に寒河江市と河北町の間を結ぶ新たな移動サービスを走らせることにした場合、お子様に利用してもらいたいのか

「①あまり利用してほしくない」58件、「②春～秋の雨天時や、冬の雨雪時に利用させたいと思う」43件、「③塾や習い事、部活などで帰りが遅いときに利用させたいと思う」37件、「②と③の両方」40件、「④ほぼ毎日利用させたいと思う」31件となっており、利用させるとしてもスポット利用が約半数、毎日の利用は約15%となっている。



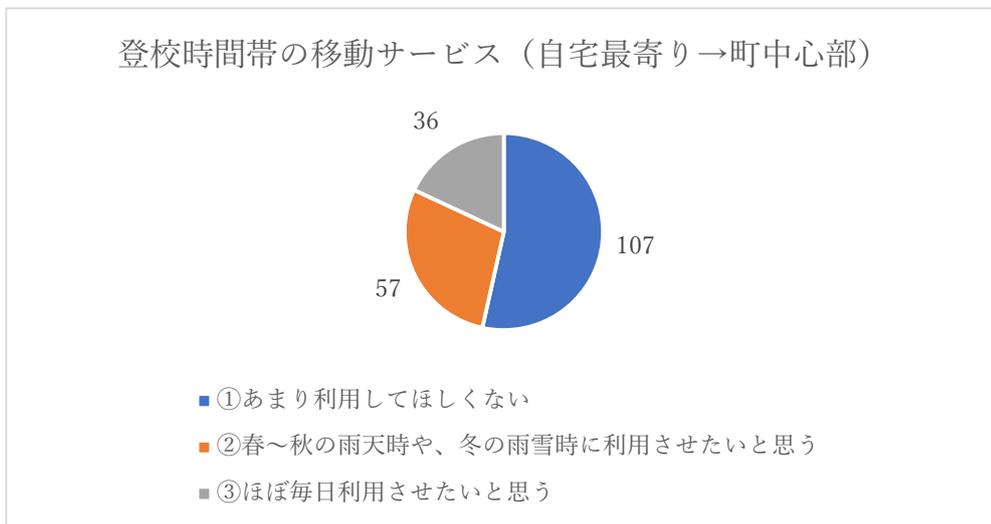
【問5】 町営路線バスへの認識

「①知らない」10件、「②存在は知っている」181件、「③バスの時刻表等も知っている」28件、「④通学等で利用している」10件、③と④を合わせて約16%にしかない。



【問6】登校時間帯に、自宅最寄りの乗降場所から町中心部（山交バスや町営の路線バスと乗り換えができる）まで、安価に利用できる新たな移動サービスを走らせることにした場合、お子様に利用してもらいたいのか

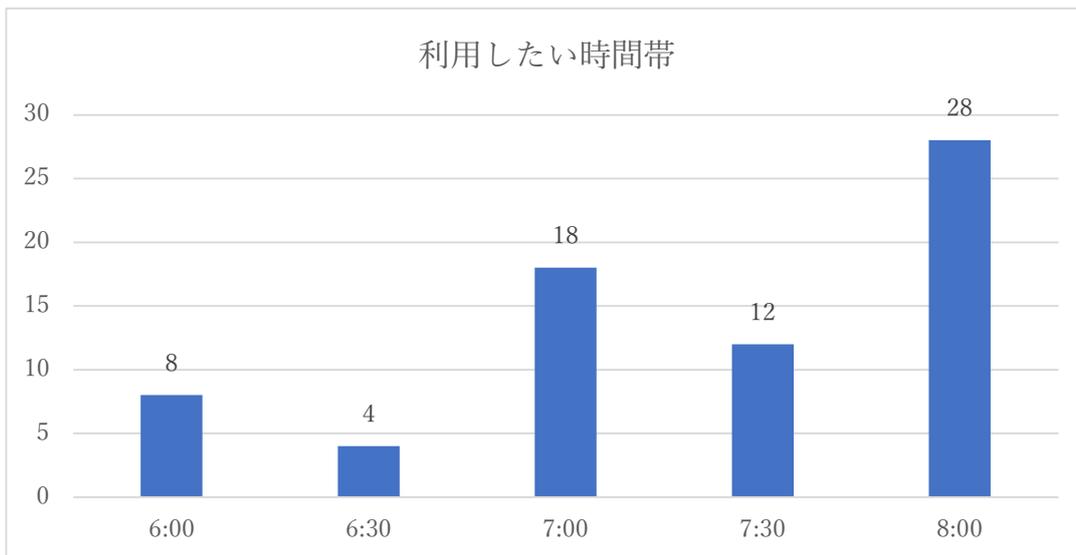
「①あまり利用してほしくない」107件、「②春～秋の雨天時や、冬の雨雪時に利用させたいと思う」57件、「③ほぼ毎日利用させたいと思う」36件となっており、利用させるとしても天候不順時というスポット利用が約3割、毎日の利用が約2割となっている。



【問6続】何時頃に利用させたいか

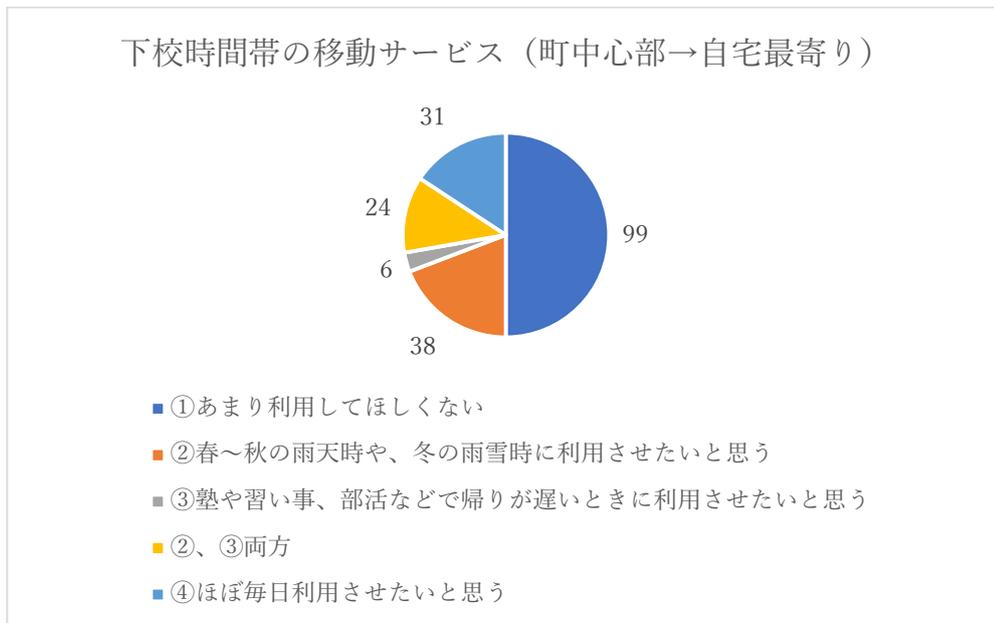
・__時頃に町中心部へ到着するなら、利用させたいと思う

「6:00」8件、「6:30」4件、「7:00」18件、「7:30」12件、「8:00」28件あった。（総件数が少なく、山形市方面への登校なら6時台、遅くても7時でない間に合わない。山形市方面への通学支援策としては弱い。）



【問7】下校時間帯に、町中心部（山交バスや町営の路線バスと乗り換えができる）から自宅最寄りの乗降場所まで、安価に利用できる新たな移動サービスを走らせることにした場合、お子様に利用してもらいたいのか

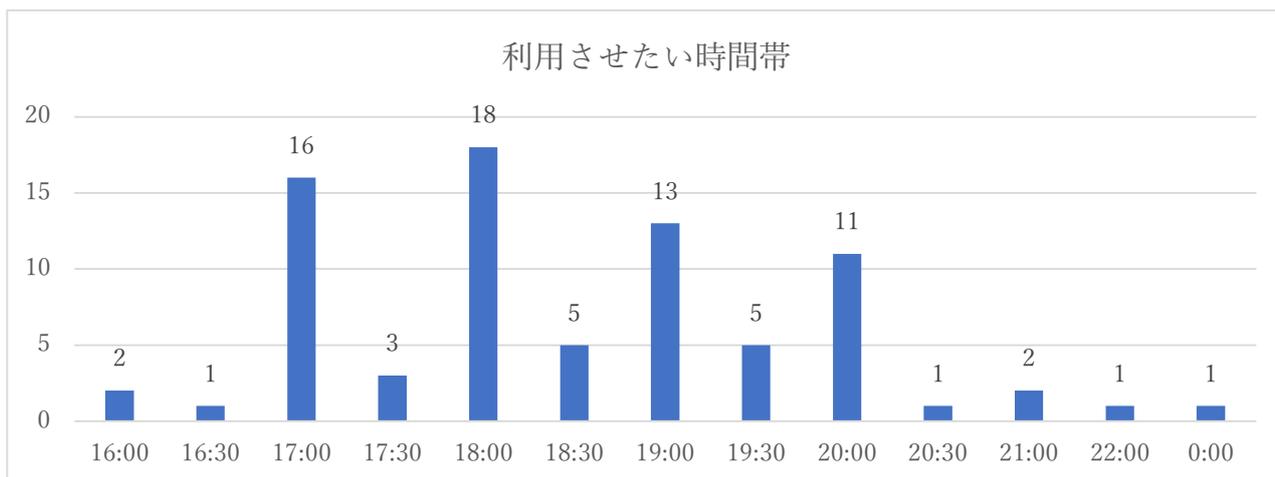
「①あまり利用してほしくない」99件、「②春～秋の雨天時や、冬の雨雪時に利用させたいと思う」38件、「③塾や習い事、部活などで帰りが遅いときに利用させたいと思う」6件、「②と③の両方」24件、「④ほぼ毎日利用させたいと思う」31件となっており、利用させるとしてもスポット利用が約34%、毎日の利用は約15%となっている。



【問7続】何時頃に利用させたいか

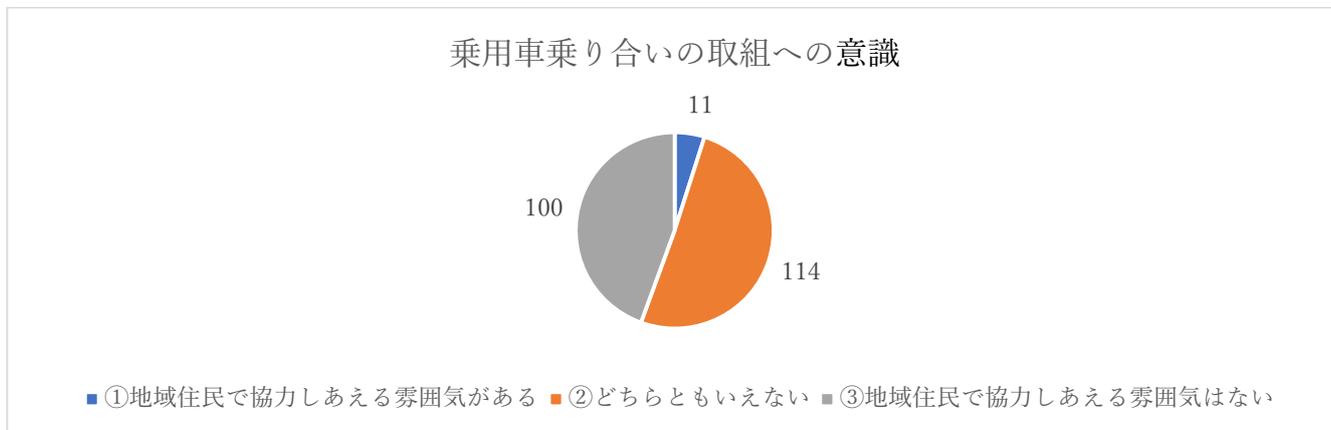
・__時頃に町中心部を出発するなら、利用させたいと思う

回答にばらつきがあるが、17時～20時が比較的多く、合計71件となっている。



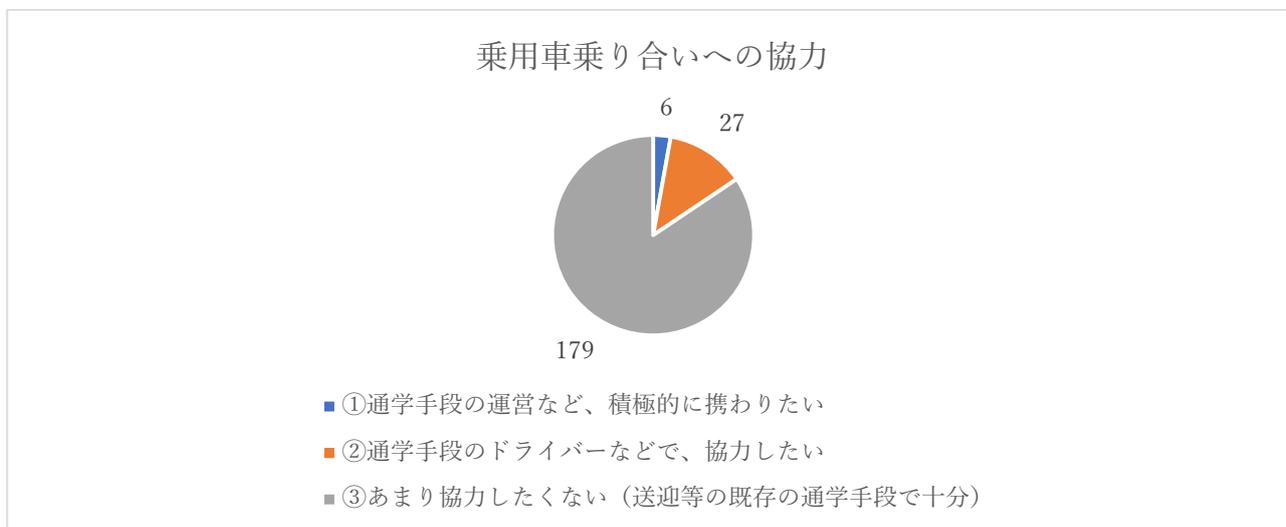
【問 8】あなたがお住まいの地区では、「行政や交通事業者の協力も得ながら、地域住民が主体となって子どもたちの通学手段をつくり、自ら走らせている」という取り組みを行えるような雰囲気はあるか

「①地域住民で協力しあえる雰囲気がある」11件、「②どちらともいえない」114件、「③地域住民で協力しあえる雰囲気はない」100件と、導入について前向きな雰囲気が5%も無い。今後の意識醸成に向けた取り組みが必要である。



【問 9】もし、地域住民が主体となって子どもたちの通学手段をつくった場合、あなた自身は協力しますか

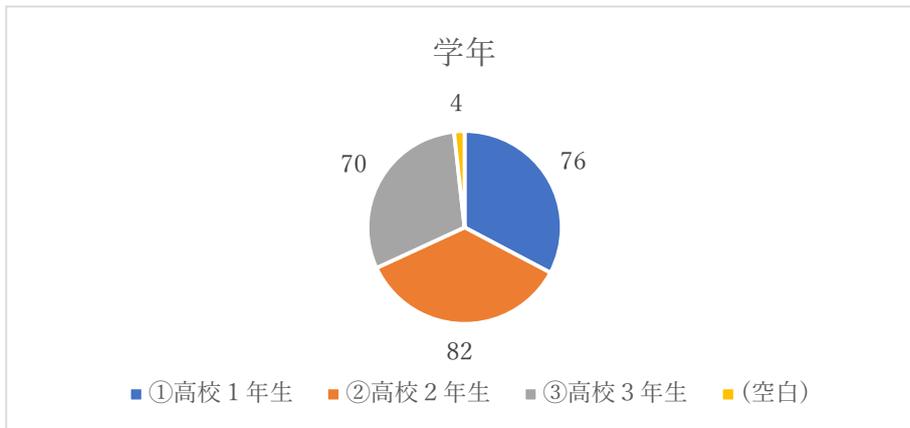
「①通学手段の運営等、積極的に携わりたい」6件、「②通学手段のドライバー等で、協力したい」27件、「③あまり協力したくない（送迎等の既存の通学手段で十分）」179件と、協力していきたいという意見が2割も無い。今後の意識醸成に向けた取り組みが必要である。



【問10】 お子様とあなた自身のことについてお聞かせください。

【お子様の学年】

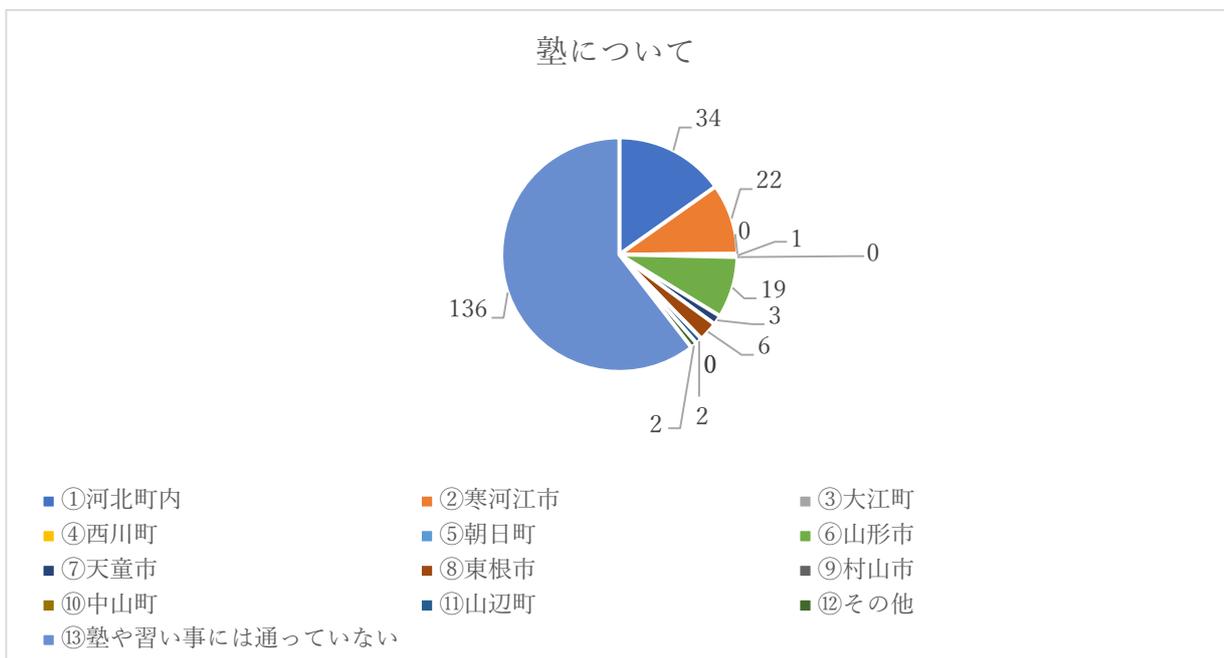
「①高校1年生」76件、「②高校2年生」82件、「③高校3年生」70件と、学年ごとの回答に偏りはほぼ無い。



【お子様の高校名】 (多数あるため略)

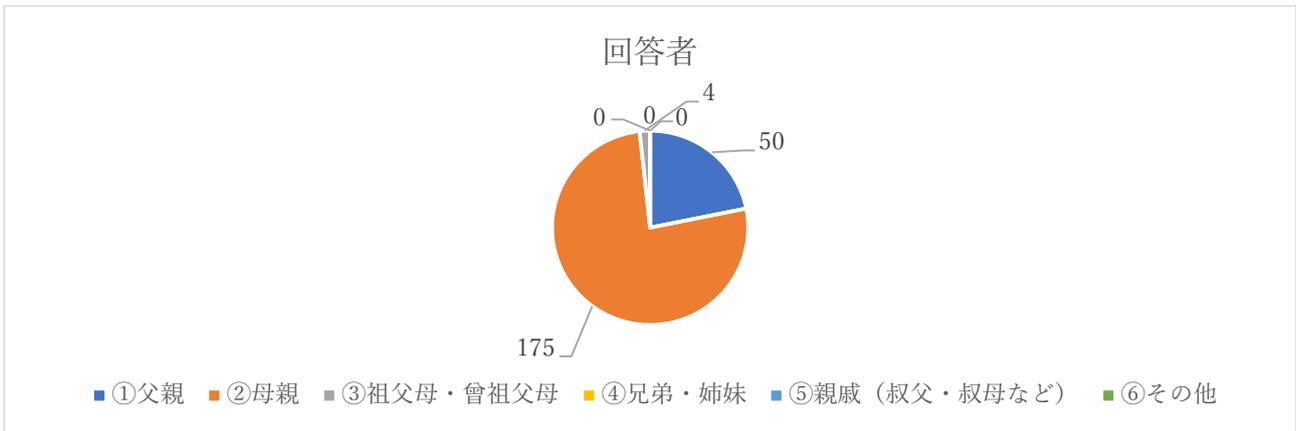
【お子様の通っている塾や習い事の市町】

多い市町から「①河北町内」34件、「②寒河江市」22件、「⑥山形市」19件であったが、「⑬塾や習い事には通っていない」が136件であった。学年による偏りも無い。



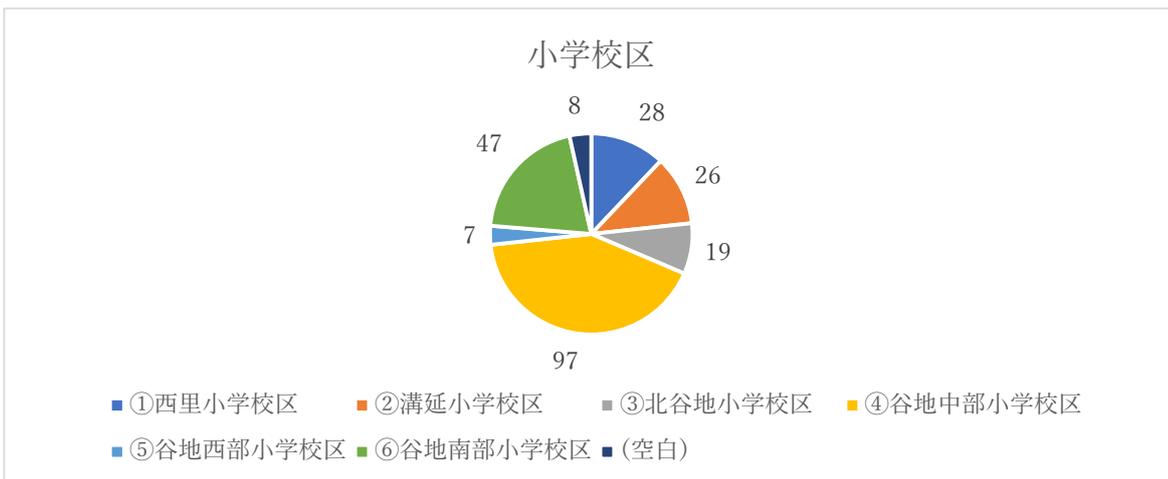
【あなた（回答者）の続柄】

「①父親」50件、「②母親」175件、「③祖父母、曾祖父母」4件と約75%が母親の回答



【お住まいの校区】

「①西里小学校区」28件、「②溝延小学校区」26件、「③北谷地小学校区」19件、「④谷地中部小学校区」97件、「⑤谷地西部小学校区」7件、「⑥谷地南部小学校区」47件と小学校区の児童数により回答数に違いがあるが、全ての小学校区から回答を得られた。



・アンケート調査の分析結果（谷地高校生保護者）

【目的】子どもの通学実態や今後の公共交通の改善に向けた意見を把握する。

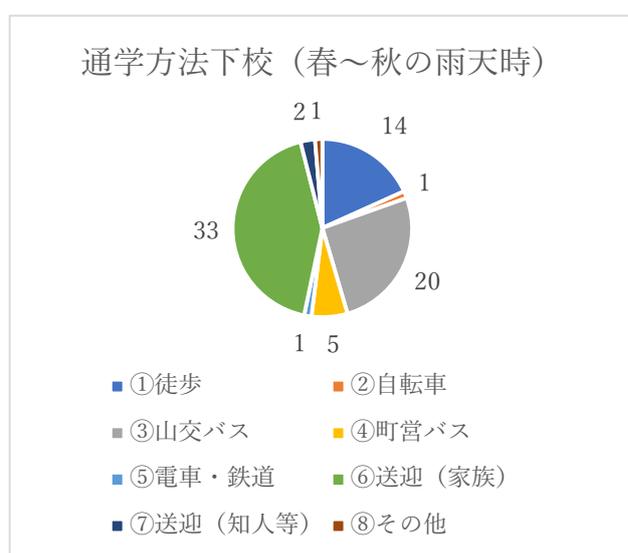
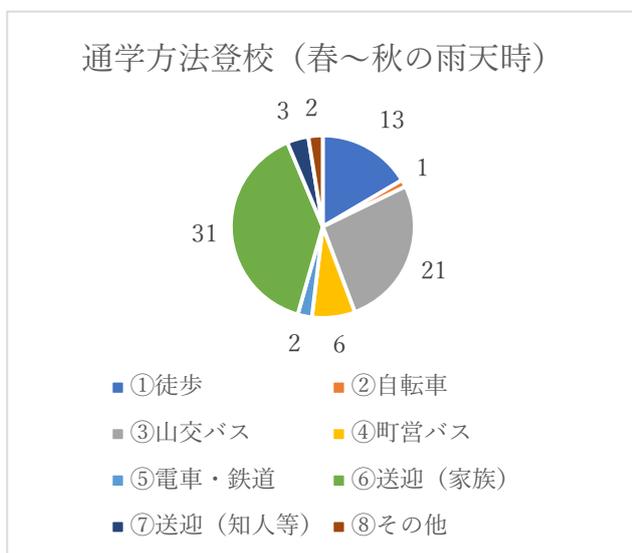
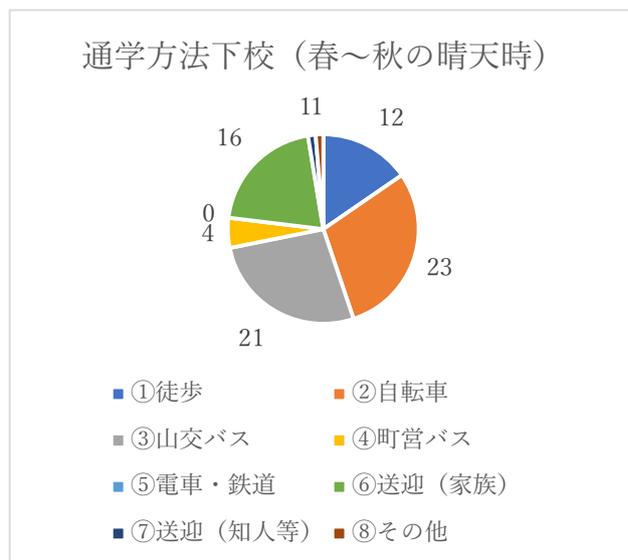
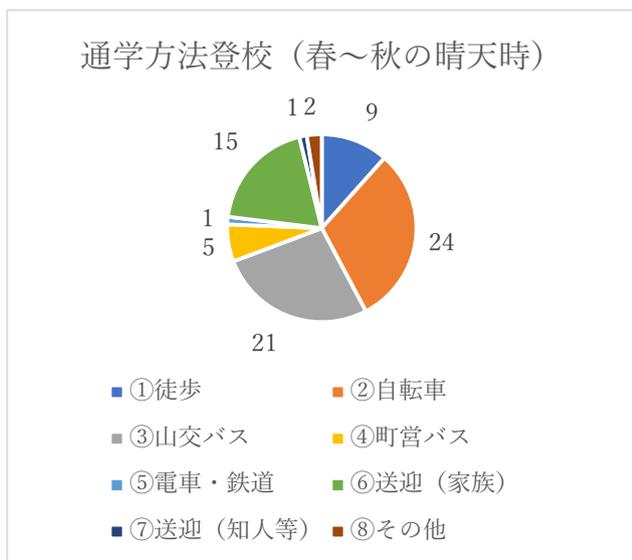
・発送数及び回収率について

・実施時期：令和6年10月（郵送による配布・回収）

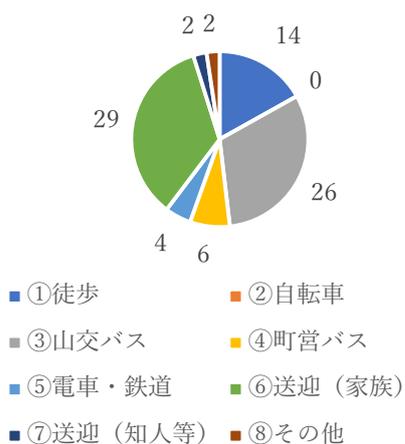
谷地高校生保護者 (町外在住)	
発送	90
回収	50
回収率	55.556%

【問1】お子様の通学方法について

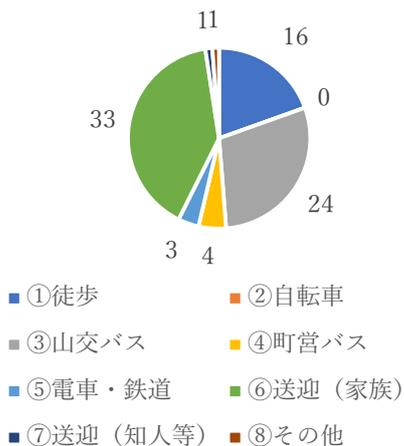
「③山交バス」、「④町営バス」利用が一定である。季節や天候に関わらず利用者が固定されている。冬や雨天時などの天候不順な時に、「⑥送迎（家族）」については10件程度増える。近隣自治体から登校している生徒が送迎になっている。



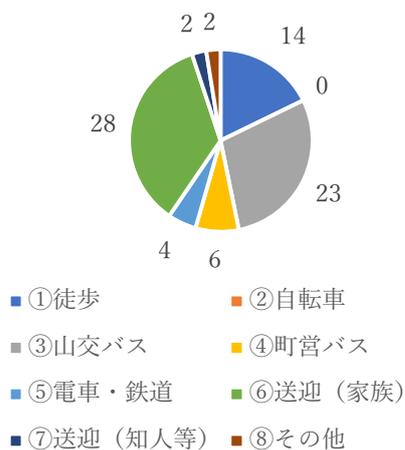
通学方法登校（冬の晴天時）



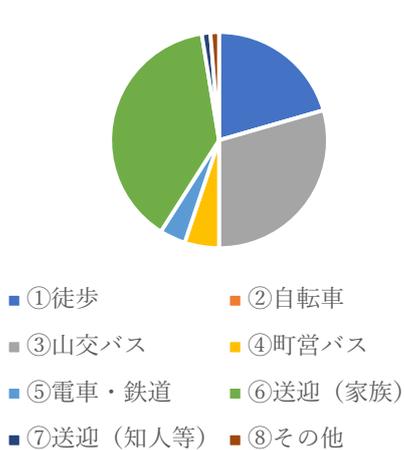
通学方法下校（冬の晴天時）



通学方法登校（冬の雨雪時）



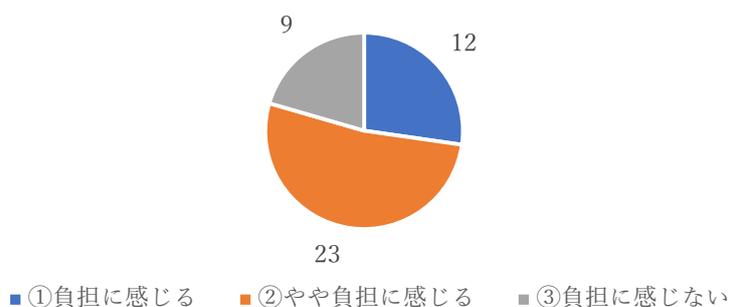
通学方法下校（冬の雨雪時）



【問2】 お子様の送迎についてのご家庭での考え

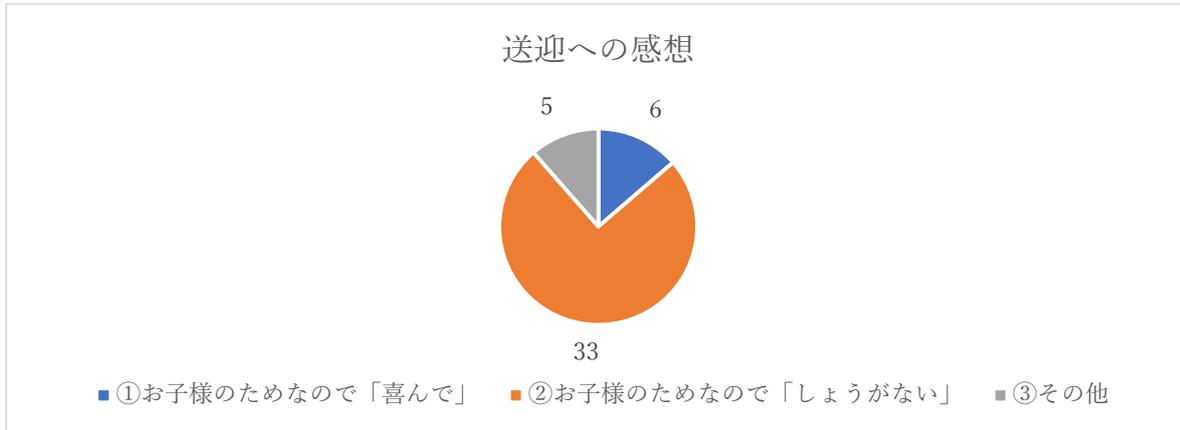
「①負担を感じる」12件、「②やや負担を感じる」23件と合計すると約80%の保護者が送迎に負担を感じている。

送迎の負担感



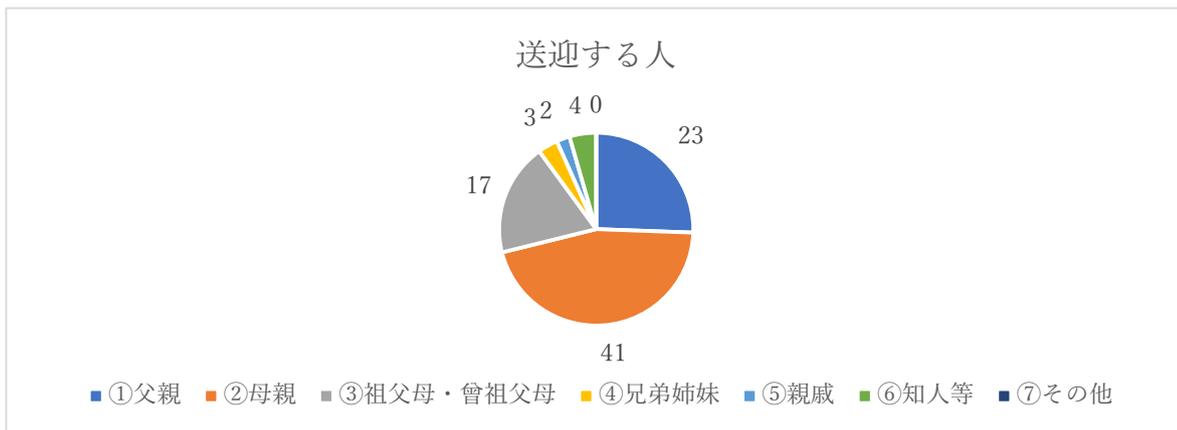
【問2続】 お子様の通学の送迎に対するご家庭での感想について

「②お子様のためなのではない」33件と75%の保護者が、負担感がありながらも、しょうがないと思っている。



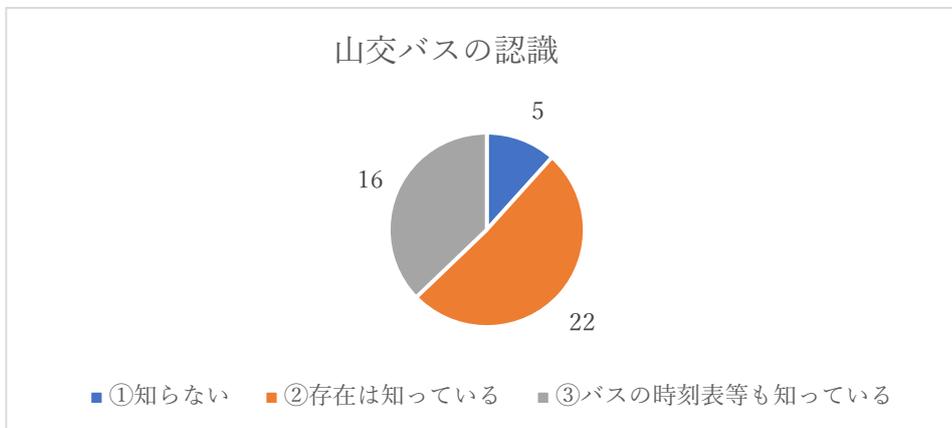
【問2続】 お子様を送迎する人

「①父親」23件、「②母親」41件、「③祖父母、曾祖父母」17件と両親だけでなく、祖父母等も送迎している。



【問3-1】 山交バスの路線バスへの認識

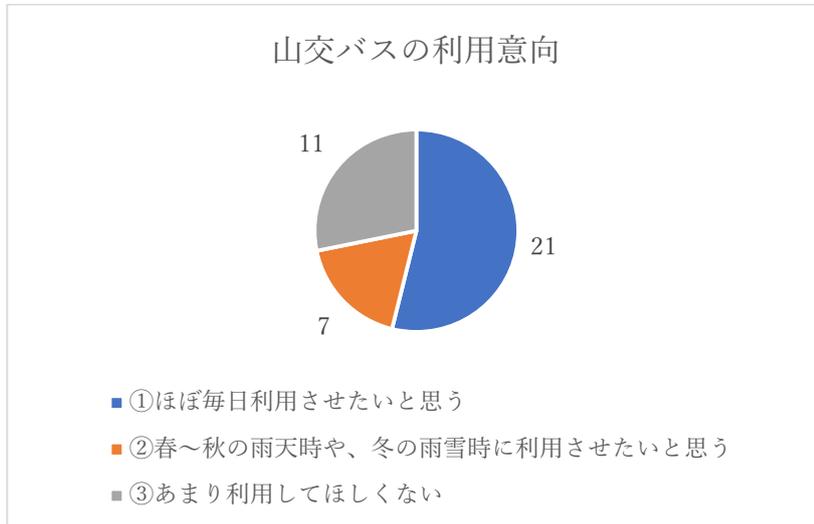
「③バスの時刻表等も知っている」が16件であり、割合にすると40%未満となっている。山交バスの存在は周知されているが、時刻表等の詳細な情報が周知されていない。



【問3-2】朝の通学で、山交バスをお子様にご利用してもらいたいのか

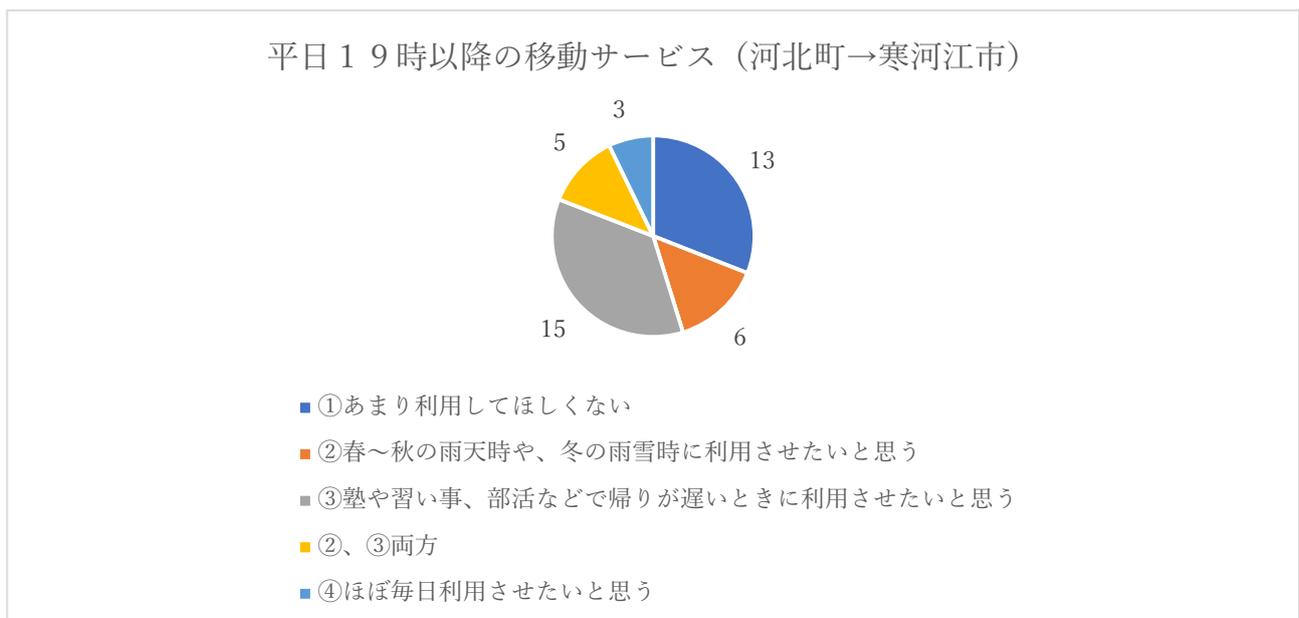
【問3-3】問3-2のように答えた理由を教えてください。

「①ほぼ毎日利用させたいと思う」21件、「②春～秋の雨天時や、冬の雨雪時に利用させたいと思う」7件、「③あまり利用してほしくない」11件となっている。半数以上が利用に積極的であり、天候不順時というスポット利用が約18%となっている。利用してほしくない理由としては、利用できないということが一部あるが、時間が合わない、バス停が近くにない、送迎の方が早いなどの意見がある。



【問4-1】平日の19時以降に河北町から寒河江市まで利用できる新たな移動サービスを走らせることにした場合、お子様にご利用してもらいたいのか

「①あまり利用してほしくない」13件、「②春～秋の雨天時や、冬の雨雪時に利用させたいと思う」6件、「③塾や習い事、部活などで帰りが遅いときに利用させたいと思う」15件、「②と③の両方」5件、「④ほぼ毎日利用させたいと思う」3件となっており、約30%が利用してほしくない（利用できないを含む）、利用させるとしてもスポット利用が約60%、毎日の利用は約7%となっている。



【問4-2】土日祝日に寒河江市と河北町を結ぶ利用できる新たな移動サービスを走らせることにした場合、お子様に利用してもらいたいのか

「①あまり利用してほしくない」13件、「②春～秋の雨天時や、冬の雨雪時に利用させたいと思う」8件、「③塾や習い事、部活などで帰りが遅いときに利用させたいと思う」11件、「②と③の両方」4件、「④ほぼ毎日利用させたいと思う」6件となっており、約30%が利用してほしくない（利用できないを含む）、利用させるとしてもスポット利用が約半数、毎日の利用は約15%となっている。

土日祝日の新たな移動サービス（寒河江市⇄河北町）



【問5】お子様とあなた自身のことについてお聞かせください。

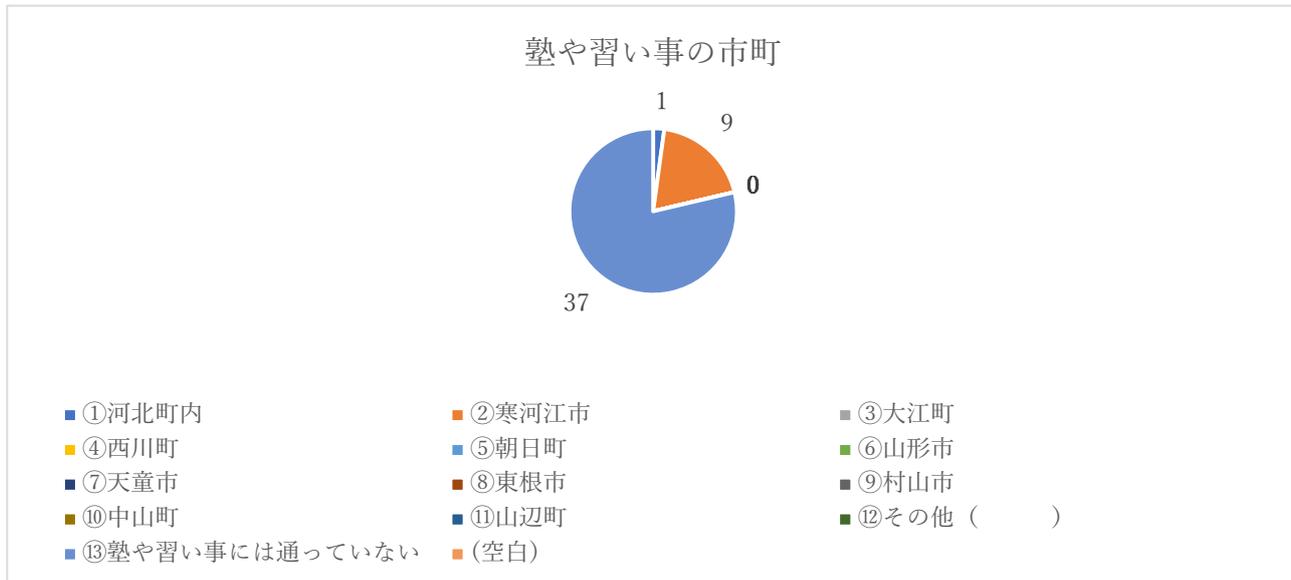
【お子様の学年】

「①高校1年生」21件、「②高校2年生」10件、「③高校3年生」18件と、学年ごとの回答に偏りはほぼ無い。



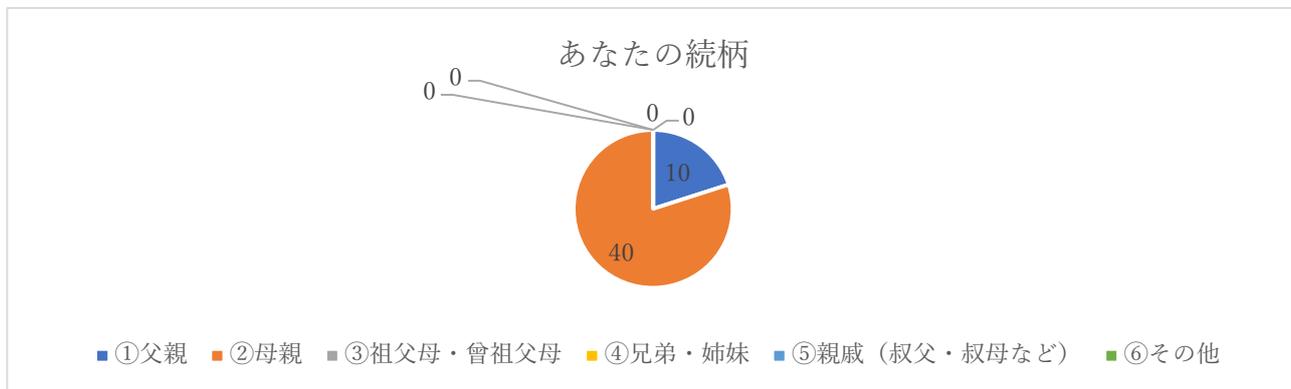
【お子様の通っている塾や習い事の市町】

多い市町から「②寒河江市」9件、「①河北町内」1件であったが、「⑬塾や習い事には通っていない」が37件であった。学年による偏りも無い。

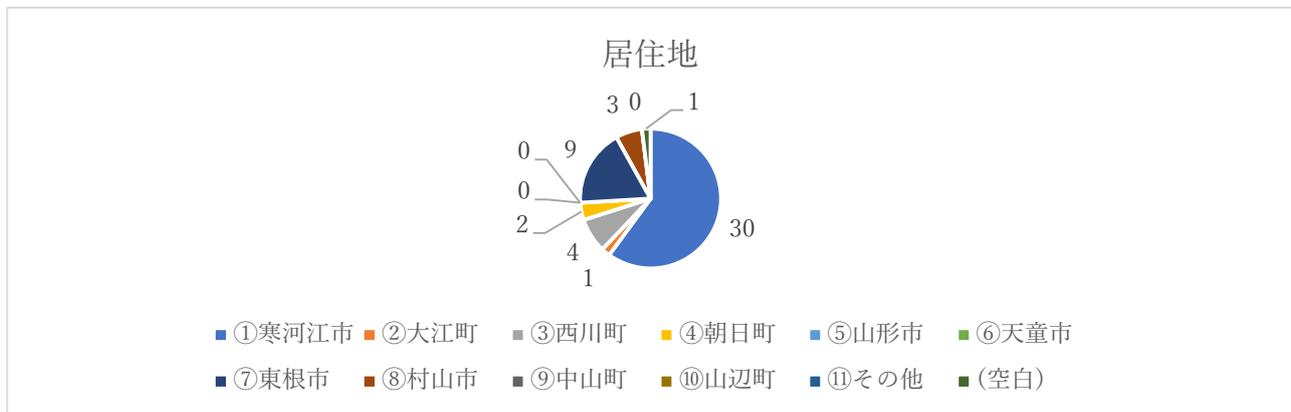


【あなた（回答者）の続柄】

「①父親」10件、「②母親」40件と約80%が母親の回答であった



【お住まいの市町】



○路線別・便別の利用者数の詳細

・北部線

路線別・便別・利用者区分別の利用者数（人）

（1便あたりは、平日便：245便／年度、土日祝日便：120便／年度として算出）

北部線 1便 利用者数	一般	障がい者	75歳以上	免許返納者	高校生以下	高校生以下障がい者	合計	1便あたり	高校生以下1便あたり
R1	12	0	285	17	88	0	402	1.64	0.36
R2	4	13	275	14	31	0	337	1.38	0.13
R3	7	9	243	13	28	0	300	1.22	0.11
R4	8	12	209	17	52	0	298	1.22	0.21
R5	5	13	105	15	21	0	159	0.65	0.09
R6	1	9	19	15	126	0	170	0.69	0.51

北部線 2便 利用者数	一般	障がい者	75歳以上	免許返納者	高校生以下	高校生以下障がい者	合計	1便あたり	高校生以下1便あたり
R1	150	0	650	128	8	0	936	3.82	0.03
R2	104	13	423	130	3	0	673	2.75	0.01
R3	109	6	248	74	0	0	437	1.78	0.00
R4	126	30	287	52	1	0	496	2.02	0.00
R5	129	8	292	116	5	0	550	2.24	0.02
R6	102	5	231	323	1	0	662	2.70	0.00

北部線 3便 利用者数	一般	障がい者	75歳以上	免許返納者	高校生以下	高校生以下障がい者	合計	1便あたり	高校生以下1便あたり
R1	63	0	284	99	5	0	451	1.84	0.02
R2	61	6	264	84	4	0	419	1.71	0.02
R3	65	44	171	45	0	0	325	1.33	0.00
R4	56	23	171	45	1	0	296	1.21	0.00
R5	48	7	184	123	3	0	365	1.49	0.01
R6	63	8	176	214	4	0	465	1.90	0.02

・北部線

路線別・便別・利用者区分別の利用者数（人）

（1便あたりは、平日便：245便／年度、土日祝日便：120便／年度として算出）

北部線 4便 利用者数	一般	障がい者	75歳以上	免許返納者	高校生以下	高校生以下 障がい者	合計	1便あたり	高校生以下1便あたり
R1	112	0	419	27	16	0	574	2.34	0.07
R2	65	181	104	13	8	0	371	1.51	0.03
R3	56	74	55	3	0	0	188	0.77	0.00
R4	71	65	84	12	0	0	232	0.95	0.00
R5	43	66	150	11	3	0	273	1.11	0.01
R6	24	122	95	18	2	0	261	1.07	0.01

北部線 5便 利用者数	一般	障がい者	75歳以上	免許返納者	高校生以下	高校生以下 障がい者	合計	1便あたり	高校生以下1便あたり
R1	45	0	300	9	41	0	395	1.61	0.17
R2	23	2	283	9	28	0	345	1.41	0.11
R3	20	5	193	6	3	0	227	0.93	0.01
R4	30	2	90	5	1	0	128	0.52	0.00
R5									
R6									

※R5から休止

・西部線

路線別・便別・利用者区分別の利用者数（人）

（1便あたりは、平日便：245便／年度、土日祝日便：120便／年度として算出）

西部線 1便 利用者数	一般	障がい者	75歳以上	免許返納者	高校生以下	高校生以下障がい者	合計	1便あたり	高校生以下1便あたり
R1	51	0	81	19	7	0	158	0.64	0.03
R2	25	0	117	7	184	0	333	1.36	0.75
R3	36	4	60	6	0	0	106	0.43	0.00
R4	65	4	19	5	3	0	96	0.39	0.01
R5	43	10	43	5	2	0	103	0.42	0.01
R6	11	49	42	5	23	0	130	0.53	0.09

西部線 2便 利用者数	一般	障がい者	75歳以上	免許返納者	高校生以下	高校生以下障がい者	合計	1便あたり	高校生以下1便あたり
R1	152	0	683	185	8	0	1,028	4.20	0.03
R2	87	108	458	143	0	0	796	3.25	0.00
R3	97	91	526	175	1	0	890	3.63	0.00
R4	149	212	707	201	1	0	1,270	5.18	0.00
R5	153	399	810	198	27	0	1,587	6.48	0.11
R6	99	377	737	176	7	0	1,396	5.70	0.03

西部線 3便 利用者数	一般	障がい者	75歳以上	免許返納者	高校生以下	高校生以下障がい者	合計	1便あたり	高校生以下1便あたり
R1	66	0	455	140	5	0	666	2.72	0.02
R2	59	1	208	91	0	0	359	1.47	0.00
R3	51	5	249	121	3	0	429	1.75	0.01
R4	40	2	251	95	2	0	390	1.59	0.01
R5	86	9	371	108	12	0	586	2.39	0.05
R6	69	3	341	78	2	0	493	2.01	0.01

・西部線

路線別・便別・利用者区分別の利用者数（人）

（1便あたりは、平日便：245便／年度、土日祝日便：120便／年度として算出）

西部線 4便 利用者数	一般	障がい者	75歳以 上	免許返納 者	高校生 以下	高校生 以下 障がい者	合計	1便 あたり	高校生 以下1便 あたり
R1	50	0	57	30	5	0	142	0.58	0.02
R2	95	7	25	3	1	0	131	0.53	0.00
R3	86	3	39	8	2	0	138	0.56	0.01
R4	81	0	68	6	0	0	155	0.63	0.00
R5									
R6									

※R5から休止

・南部線

路線別・便別・利用者区分別の利用者数（人）

（1便あたりは、平日便：245便／年度、土日祝日便：120便／年度として算出）

南部線 1便 利用者数	一般	障がい者	75歳以上	免許返納者	高校生以下	高校生以下障がい者	合計	1便あたり	高校生以下1便あたり
R1	38	0	64	2	11	0	115	0.47	0.04
R2	24	53	19	2	27	0	125	0.51	0.11
R3	9	13	18	44	15	0	99	0.40	0.06
R4	47	2	15	42	28	0	134	0.55	0.11
R5	34	0	16	8	0	0	58	0.24	0.00
R6	39	4	62	1	251	0	357	1.46	1.02

南部線 2便 利用者数	一般	障がい者	75歳以上	免許返納者	高校生以下	高校生以下障がい者	合計	1便あたり	高校生以下1便あたり
R1	72	0	315	19	2	0	408	1.67	0.01
R2	68	229	173	26	11	0	507	2.07	0.04
R3	89	225	177	43	2	0	536	2.19	0.01
R4	87	229	158	58	0	0	532	2.17	0.00
R5	65	305	115	60	11	0	556	2.27	0.04
R6	56	262	208	51	1	0	578	2.36	0.00

南部線 3便 利用者数	一般	障がい者	75歳以上	免許返納者	高校生以下	高校生以下障がい者	合計	1便あたり	高校生以下1便あたり
R1	102	0	138	14	5	0	259	1.06	0.02
R2	195	23	100	6	1	0	325	1.33	0.00
R3	217	9	48	3	0	0	277	1.13	0.00
R4	180	3	16	1	0	0	200	0.82	0.00
R5									
R6									

※R5から休止

・東部線

路線別・便別・利用者区分別の利用者数（人）

（1便あたりは、平日便：245便／年度、土日祝日便：120便／年度として算出）

東部線 1便 利用者数	一般	障がい者	75歳以上	免許返納者	高校生以下	高校生以下障がい者	合計	1便あたり	高校生以下1便あたり
R1	16	0	365	1	74	0	456	1.86	0.30
R2	39	213	136	0	1	0	389	1.59	0.00
R3	36	186	103	2	1	0	328	1.34	0.00
R4	12	147	37	2	0	0	198	0.81	0.00
R5	2	0	17	1	42	0	62	0.25	0.17
R6	2	1	14	8	9	0	34	0.14	0.04

東部線 2便 利用者数	一般	障がい者	75歳以上	免許返納者	高校生以下	高校生以下障がい者	合計	1便あたり	高校生以下1便あたり
R1	11	0	168	11	0	0	190	0.78	0.00
R2	95	22	108	4	1	0	230	0.94	0.00
R3	33	12	89	0	0	0	134	0.55	0.00
R4	22	12	32	2	0	0	68	0.28	0.00
R5	3	5	32	7	1	0	48	0.20	0.00
R6	6	2	26	102	0	0	136	0.56	0.00

東部線 3便 利用者数	一般	障がい者	75歳以上	免許返納者	高校生以下	高校生以下障がい者	合計	1便あたり	高校生以下1便あたり
R1	11	0	139	2	2	0	154	0.63	0.01
R2	41	138	162	1	0	0	342	1.40	0.00
R3	13	78	56	0	0	0	147	0.60	0.00
R4	16	80	25	1	0	0	122	0.50	0.00
R5									
R6									

※R5から休止

・東根線（平日便）

路線別・便別・利用者区分別の利用者数（人）

（1便あたりは、平日便：245便／年度、土日祝日便：120便／年度として算出）

東根線 平日1便 利用者数	一般	障がい者	75歳以上	免許返納者	高校生以下	高校生以下 障がい者	合計	1便あたり	高校生以下1便あたり
R1	94	0	32	3	673	0	802	3.27	2.75
R2	59	8	10	1	529	0	607	2.48	2.16
R3	117	1	10	3	872	0	1,003	4.09	3.56
R4	62	0	1	2	409	1	475	1.94	1.67
R5	53	6	1	0	941	0	1,001	4.09	3.84
R6	163	10	13	0	559	0	745	3.04	2.28

東根線 平日2便 利用者数	一般	障がい者	75歳以上	免許返納者	高校生以下	高校生以下 障がい者	合計	1便あたり	高校生以下1便あたり
R1	388	0	416	4	222	0	1,030	4.20	0.91
R2	282	53	303	5	135	0	778	3.18	0.55
R3	358	42	217	6	130	15	768	3.13	0.59
R4	329	44	207	3	174	30	787	3.21	0.83
R5	375	65	203	37	215	0	895	3.65	0.88
R6	463	170	211	88	140	0	1,072	4.38	0.57

東根線 平日3便 利用者数	一般	障がい者	75歳以上	免許返納者	高校生以下	高校生以下 障がい者	合計	1便あたり	高校生以下1便あたり
R1	292	0	410	3	624	0	1,329	5.42	2.55
R2	172	169	166	4	741	0	1,252	5.11	3.02
R3	251	106	204	6	599	0	1,166	4.76	2.44
R4	291	280	158	6	585	0	1,320	5.39	2.39
R5	455	272	153	5	475	0	1,360	5.55	1.94
R6	454	225	197	20	422	0	1,318	5.38	1.72

・東根線（平日便）

路線別・便別・利用者区分別の利用者数（人）

（1便あたりは、平日便：245便／年度、土日祝日便：120便／年度として算出）

東根線 平日4便 利用者数	一般	障がい者	75歳以上	免許返納者	高校生以下	高校生以下障がい者	合計	1便あたり	高校生以下1便あたり
R1	318	0	199	3	598	0	1,118	4.56	2.44
R2	202	88	43	3	760	0	1,096	4.47	3.10
R3	227	38	52	1	723	0	1,041	4.25	2.95
R4	225	45	50	0	635	0	955	3.90	2.59
R5	318	64	44	2	413	0	841	3.43	1.69
R6	378	145	135	3	430	0	1,091	4.45	1.76

東根線 平日5便 利用者数	一般	障がい者	75歳以上	免許返納者	高校生以下	高校生以下障がい者	合計	1便あたり	高校生以下1便あたり
R1	203	0	31	1	2,787	0	3,022	12.33	11.38
R2	97	19	8	2	2,535	10	2,671	10.90	10.39
R3	122	6	4	0	2,683	4	2,819	11.51	10.97
R4	180	24	8	1	2,661	0	2,874	11.73	10.86
R5	329	28	8	8	2,576	1	2,950	12.04	10.52
R6	427	37	10	12	2,304	0	2,790	11.39	9.40

東根線 平日6便 利用者数	一般	障がい者	75歳以上	免許返納者	高校生以下	高校生以下障がい者	合計	1便あたり	高校生以下1便あたり
R1	76	0	5	1	1,708		1,790	7.31	6.97
R2	95	6	0	0	526	1	628	2.56	2.15
R3	95	7	2	0	920	0	1,024	4.18	3.76
R4	127	6	1	2	819	0	955	3.90	3.34
R5	110	8	3	3	918	1	1,043	4.26	3.75
R6	123	1	3	4	545	0	676	2.76	2.22

・東根線（土日祝日便）

路線別・便別・利用者区分別の利用者数（人）

（1便あたりは、平日便：245便／年度、土日祝日便：120便／年度として算出）

東根線土日 祝日1便 利用者数	一般	障がい者	75歳以 上	免許返納 者	高校生 以下	高校生 以下 障がい者	合計	1便 あたり	高校生 以下1便 あたり
R1	142	0	37	0	201	0	380	3.17	1.68
R2	52	9	9	0	101	0	171	1.43	0.84
R3	55	3	2	2	224	0	286	2.38	1.87
R4	123	2	2	0	157	3	287	2.39	1.33
R5	266	9	0	1	189	1	466	3.88	1.58
R6	311	16	11	1	159	0	498	4.15	1.33

東根線土日 祝日2便 利用者数	一般	障がい者	75歳以 上	免許返納 者	高校生 以下	高校生 以下 障がい者	合計	1便 あたり	高校生 以下1便 あたり
R1	163	0	109	0	226	0	498	4.15	1.88
R2	88	64	19	1	99	0	271	2.26	0.83
R3	87	74	12	1	137	0	311	2.59	1.14
R4	155	57	19	0	122	0	353	2.94	1.02
R5	299	78	23	6	91	0	497	4.14	0.76
R6	270	39	33	55	130	0	527	4.39	1.08

東根線土日 祝日3便 利用者数	一般	障がい者	75歳以 上	免許返納 者	高校生 以下	高校生 以下 障がい者	合計	1便 あたり	高校生 以下1便 あたり
R1	118	0	23	0	257	0	398	3.32	2.14
R2	78	2	2	0	125	11	218	1.82	1.13
R3	85	4	1	0	161	0	251	2.09	1.34
R4	115	7	1	0	218	0	341	2.84	1.82
R5	211	5	3	3	148	0	370	3.08	1.23
R6	309	8	10	2	121	0	450	3.75	1.01

河北町地域公共交通計画（資料編）

発行日 令和〇年〇月

作成 河北町地域公共交通活性化協議会

問い合わせ先 河北町くらし応援課

〒999-3511

河北町谷地戊 81

電話 0237-73-2111

アドレス <https://www.town.kahoku.yamagata.jp/>